



ユーザースマニュアル

目次

1 はじめに	3
1-1 動作要件	3
1-2 ライセンスについて	4
2 インストールの手順	4
2-1 インストーラの起動	4
3 初回設定	6
3-1 初回設定ウィザードの起動	6
3-2 ライセンスキーの入力	6
3-3 設定モードの選択	8
3-4 バックアップ先の選択	9
3-5 バックアップ元の設定	10
3-6 圧縮/暗号化設定	11
3-7 その他の設定	11
3-8 セキュリティパスワードの設定	12
3-9 パフォーマンス設定	14
3-10 SMTPの設定	15
3-11 初回設定の確認	15
4 各種機能と設定	17
4-1 ホーム画面の機能	17
4-2 バックアップ画面	18
4-2-1 バックアップ元フォルダを設定する	18
4-2-2 バックアップ先を追加する	23
4-2-3 バックアップ先を削除する	25
4-3 リストアと削除	26
4-3-1 リストアを実行する	28
4-3-2 削除を実行する	28
4-3-3 検索を使用する	28
4-4 オプション	29
4-4-1 共通設定	29
4-4-2 セキュリティ設定	32
4-4-3 メール送信設定	33
4-5 ステータス&ログ	34
4-5-1 バックアップログ	34
4-5-2 リストアログを閲覧する	36
4-5-3 オペレーションログを閲覧する	36
4-6 サポート	37
4-6-1 ライセンスキー入力	37
4-6-2 お客様情報登録	38
4-6-3 サポートデータ作成	40
4-6-4 お問い合わせ	41
4-6-5 マニュアル	42
5 Air Back アイコンと表示されるメッセージについて	42

5-1	コンテキストメニューを開く.....	42
5-2	Air Back アイコンの表示と動作状況	43
6	Air Back Restore について.....	44
6-1	Air Back Restore とは	44
6-2	Air Back Restore の起動方法	44
7	バックアップ先にネットワークドライブを設定する手順.....	45
7-1	ネットワークドライブを割り当てる.....	45
7-2	Agent サービス実行権限の設定	45
8	付録	46
8-1	インストーラをダウンロードする	46
8-2	無料評価版試用期間終了のお知らせ.....	46
8-3	Windows Server 2012 に.NET Framework3.5 をインストールする手順.....	46
8-4	アップデートについて	50
8-5	アンインストールの方法.....	51
9	FAQ.....	52

1 はじめに

このたびは Air Back® for File Server をご利用いただき誠にありがとうございます。

Air Back® for File Server（エアバック フォー ファイルサーバ）はサーバに保存されたファイルをバックアップし、故障や誤操作によるファイル消失時にファイルを復旧できるバックアップソフトです。

リアルタイムバックアップを行うことで、新規作成や更新が行われたばかりのファイルを消失してしまっても復旧することができます。さらに最大 99 世代まで世代設定が可能ですので、更新前の過去のファイルも復旧できます。また、バックアップ先には内蔵/外付の HDD や USB メモリ、SD カード、NAS などを使用可能です。

本書では導入方法から設定方法、操作方法、注意点などをご説明いたします。

注意

※ 本マニュアルに関する著作権は、株式会社アール・アイに帰属します。

※ 本マニュアルに掲載されているすべての画像は開発中のものです。

※ Air Back はアール・アイの商標です。

※ 動作要件は予告なく変更される場合がございます。

※ Microsoft、Windows、Windows Server、SQL Server、Microsoft Office、Internet Explorer は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標、または商標です。Intel、Intel vPro は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。AMD は、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。Mac OS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Android は Google Inc.の商標または登録商標です。その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

1-1 動作要件

以下の最低システム要件を満たす コンピュータ をご用意ください。

オペレーティングシステム（32ビット/64ビット、日本語版のみ）

Windows Server 2003 R2

Windows Storage Server 2003 R2

Windows Server 2008

Windows Server 2008 R2

Windows Storage Server 2008

Windows Storage Server 2008 R2

Windows Server 2012

Windows Storage Server 2012

CPU

Intel Pentium、Xeon、AMD または互換プロセッサ

メモリ

512MB 以上の RAM

※ お使いの OS やソフトウェアによって必要なメモリは異なります。

ハードディスクの空き容量

5MB 以上の空き容量

その他

.NET Framework 2.0 以上がインストールされていること

※ 動作要件は予告なく変更される場合がございます。

1-2 ライセンスについて

ライセンスキーを入力してアクティベーション（認証）を行うと無料評価期間 30 日を超えてご利用できます。ライセンスキー未入力またはアクティベーションを行わないと、インストール日から 30 日経過するとご利用できなくなります。

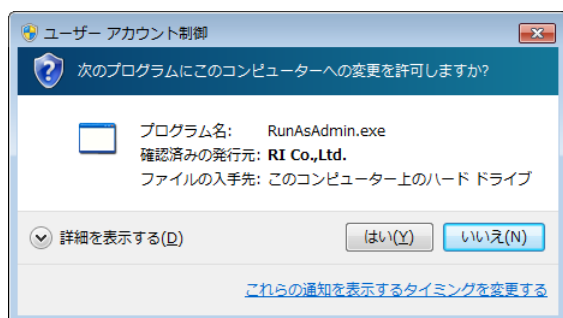
2 インストールの手順

2-1 インストーラの起動

製品 CD-ROM を PC のメディアドライブにセットするとインストールプログラムが自動的に起動します。自動的に起動しない場合はメディアを直接開き AirBackInstaller.exe を実行してください。

または、ホームページよりダウンロードした AirBackFS.exe を展開し、AirBackInstaller.exe を実行してください。

※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

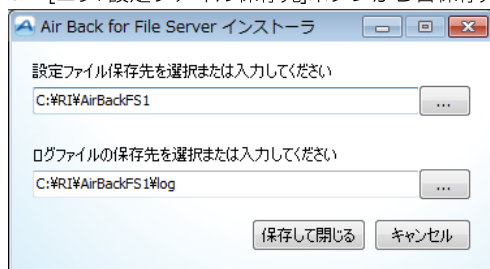


[はい]をクリックします。



[インストール]をクリックします。

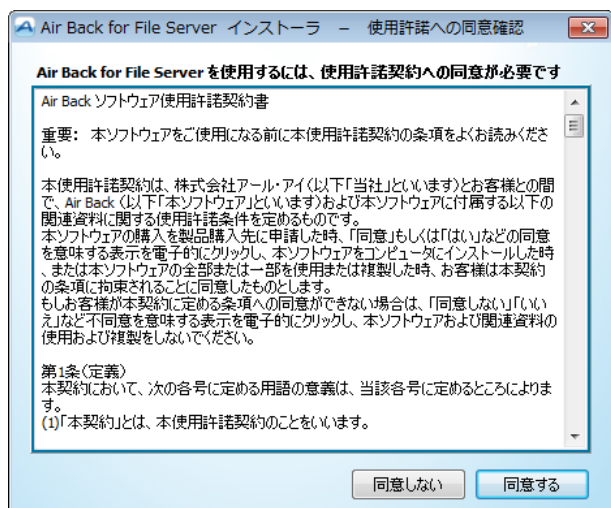
※ [ログ/設定ファイル保存先]ボタンから各保存先を指定できます。



初期値で下記のパスが入力されています。

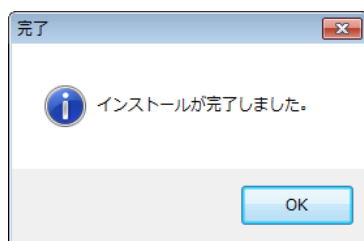
[ログ保存先]：C:\R\IAirBackFS1

[設定ファイル保存先]：C:\R\IAirBackFS1\log

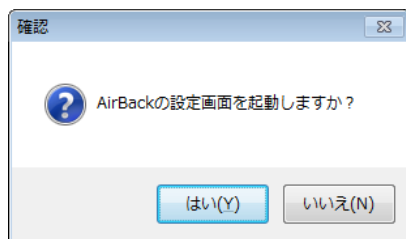


使用許諾契約書をお読みください。[同意する]をクリックするとインストールが実行されます。

※ [同意しない]場合はインストールを中断します。



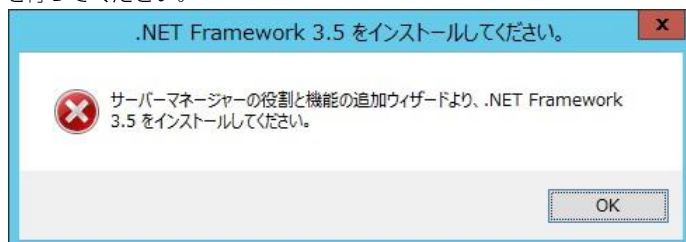
インストールが完了すると表示されるので、[OK]をクリックします。



[はい]をクリックすると設定画面が起動します。

以上でインストールは完了しました。

※ Windows Server 2012にインストールする際に下記が表示される場合は、付録の8-3 Windows Server 2012に.NET Framework 3.5をインストールする手順を参照して.NET Framework 3.5をインストールしてから再度Air Backのインストールを行ってください。



3 初回設定

3-1 初回設定ウィザードの起動

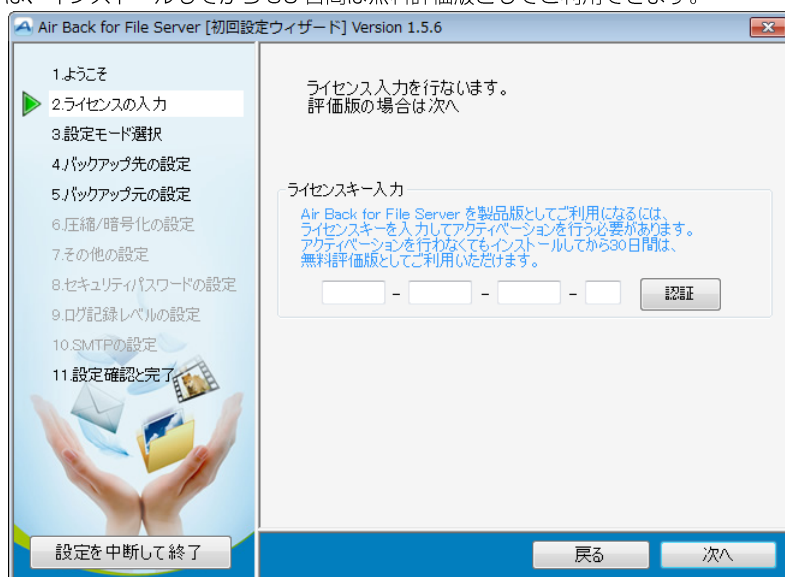
インストールが完了すると初回設定ウィザードが起動します。ここではバックアップを行うために必要な情報を設定します。



[次へ]をクリックします。

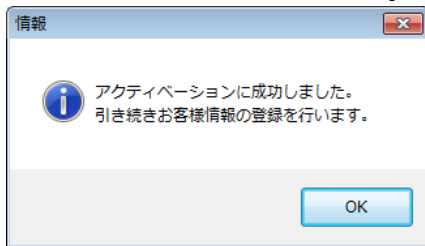
3-2 ライセンスキーの入力

ライセンスキーを入力して[認証]をクリックします。アクティベーションを行わない場合やライセンスキー未入力の状態で次へ進む場合は、インストールしてから30日間は無料評価版としてご利用できます。



※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

アクティベーション成功の表示が出たら[OK]をクリックします。



続いて、お客様情報登録フォームが表示されます。

A form titled 'サポート画面(お客様情報登録フォーム)' (Support Screen (Customer Information Registration Form)). It has two tabs: '個人として使用' (Use as individual) and '法人として使用' (Use as company). The '個人' tab is selected. The form is divided into two sections: '個人用入力フォーム' (Individual input form) and '共通入力フォーム' (Common input form). The individual form includes fields for '氏名(全角)' (Full name) split into '姓' (Surname) and '名' (Given name), 'カナ(全角)' (Full katakana name) split into 'セイ' (Surname) and 'メイ' (Given name), '生年月日' (Date of birth), '性別' (Gender) with radio buttons for '男' (Male) and '女' (Female), '職業' (Occupation), and 'PCスキル' (PC skill). The common form includes 'メールアドレス' (Email address), 'メールアドレス(確認用)' (Email address for confirmation), '郵便番号' (Postal code) with a '住所変換' (Address conversion) button, '都道府県(全角)' (Prefecture), '市区町村(全角)' (City/Town/Village), '番地(全角)' (Address), 'ビル/マンション名' (Building/Apartment name), a dropdown for '製品をどちらで知りましたか' (How did you know the product?), a text field for '上記項目の詳細(入力例: yahooでバックアップを検索, Vectorから など)' (Details of the above items (input example: search for backup on yahoo, from Vector, etc.)), and a question 'メールでの製品・イベント等の案内を希望されますか?' (Do you want to receive product/event information via email?) with radio buttons for '希望する' (I want to) and '希望しない' (I don't want to). At the bottom are two buttons: 'ユーザ登録' (Register user) and '後で登録' (Register later).

お客様情報を入力し、[ユーザ登録]をクリックします。

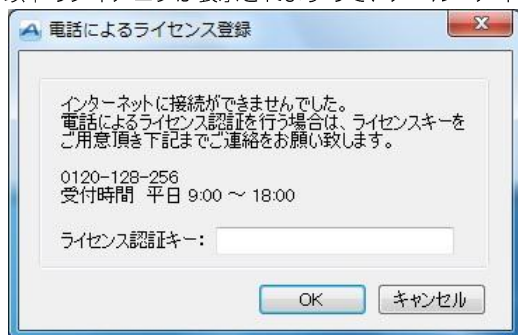


[はい]をクリックします。



<インターネットに接続されていない場合>

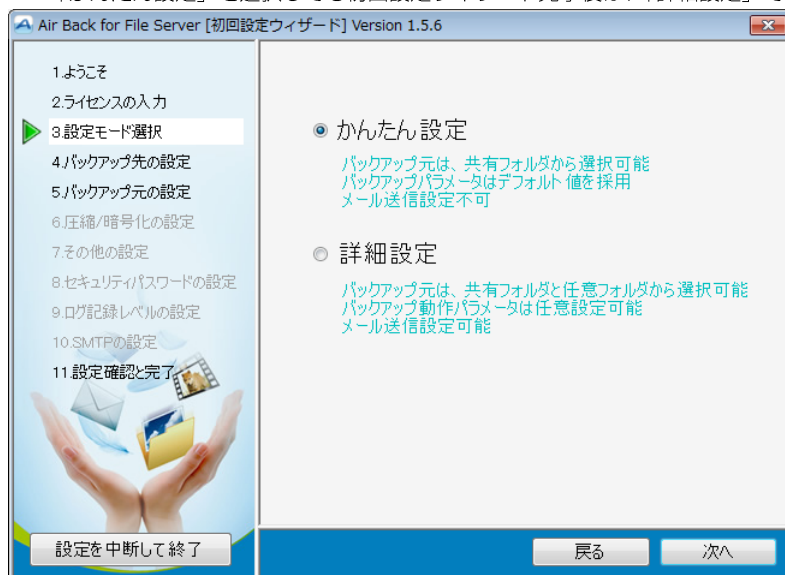
以下のダイアログが表示されますので、アール・アイ電話サポートまでライセンス認証キーをお問い合わせいただき入力してください。



3-3 設定モードの選択

最小限の設定のみを行う「かんたん設定」と、より細かく設定を行う「詳細設定」を用意しています。

※ 「かんたん設定」を選択しても初回設定ウィザード完了後は、「詳細設定」で設定する内容も設定できます



3-4 バックアップ先の選択

バックアップ先に設定可能なドライブが表示されますので、チェックを入れて、[次へ]をクリックします。

「詳細設定」を選択した場合は、[変更]をクリックして任意のフォルダをバックアップ先に指定することもできます。



指定した場所には「R」フォルダが作成され、その中にバックアップデータが転送されます。

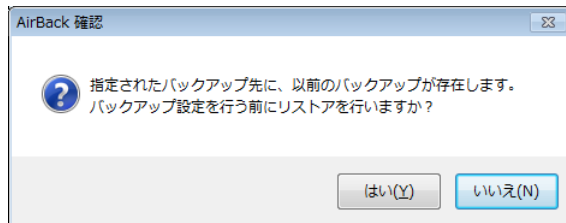
例：Z ドライブをバックアップ先に指定した場合

Z:\R\N\$AFS フォルダが作成され、その中の「SP」または「LD」フォルダにバックアップデータが転送されます。

※ ネットワークドライブは事前に割り当てることで一覧に表示されます。

※ CD/DVD 等の光学メディアやテープメディアなどはバックアップ先として指定できません。

＜バックアップ先にバックアップデータが存在した場合＞



以前バックアップしたデータが存在した場合に表示されます。

[はい]をクリックすると、リストアツールが起動します。

[いいえ]をクリックすると初回設定ウィザード終了時にすべて削除されますのでご注意ください。

3-5 バックアップ元の設定

サーバ内の共有フォルダを自動的に検出して表示しますので、チェックを入れて [次へ]をクリックします。

設定モード選択で「詳細設定」を選択した場合は、右下の[参照]ボタンより、任意のフォルダを選択することもできます。

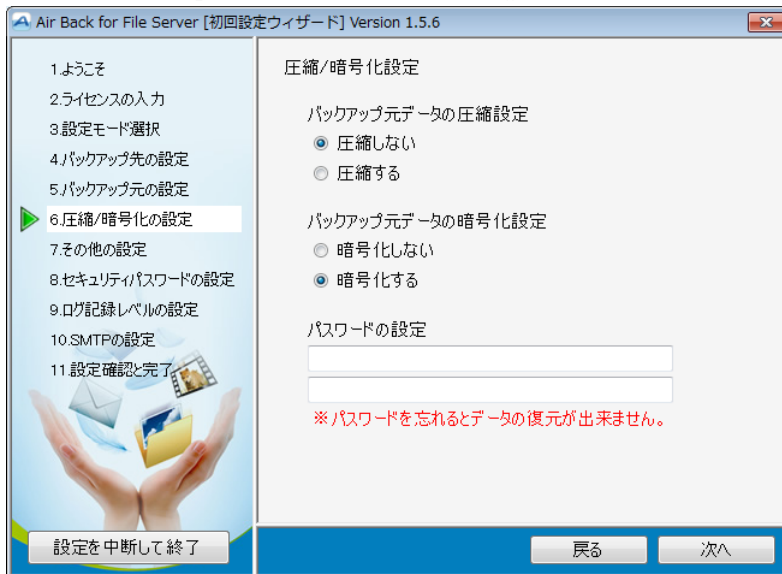


バックアップしたいフォルダを選択して[OK]をクリックします。

3-6 圧縮/暗号化設定

バックアップデータを圧縮するか、暗号化するかを選択します。暗号化する、を選択した場合はパスワードを半角英数字 1～16 文字で入力してください。

※ 「かんたん設定」ではスキップされ、自動で圧縮しない/暗号化しないが選択されます。



<圧縮設定>

「圧縮する」に設定するとバックアップ元に設定したファイルが圧縮されてバックアップ先に保存されます。圧縮率は zip と同じです。

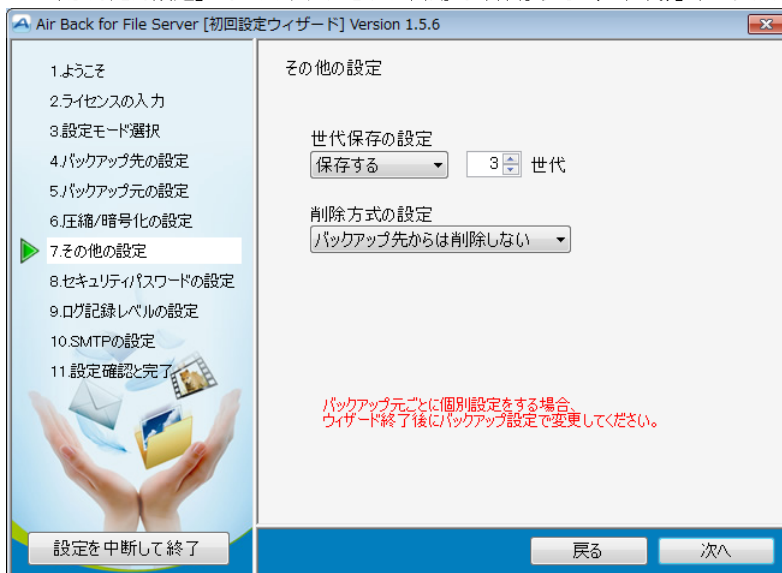
<暗号化設定>

「暗号化する」に設定するとバックアップ元に設定したファイルが暗号化されてバックアップ先に保存されます。リストアする際に設定したパスワードの入力が必要です。

3-7 その他の設定

世代保存の設定、削除方式の設定を行います。バックアップ元ごとに個別に設定する場合は、初回設定ウィザード完了後にホーム画面バックアップ設定で変更してください。

※ 「かんたん設定」ではスキップされ、自動で「保存する（3 世代）」「バックアップ先からは削除しない」が選択されます。



<世代保存の設定>

上書きによるバックアップ時に古いファイルを世代として保存するかどうかの設定です。1～99 世代の範囲で世代を保存できます。世代を保存しておくで、誤って上書きした時や削除してしまった際に世代ファイルからの復旧が可能になります。

「保存する」を選択した場合は保存する世代数を指定してください。

<削除方式の設定>

バックアップ元から削除されたファイルをバックアップ先からも削除することができます。

「時間をあけて削除する」を設定した場合はリアルタイム方式でもバックアップ元から削除されたファイルがバックアップ先からすぐに削除されることはありません。

※ バックアップ方式によってバックアップ先にあるバックアップファイルを削除するタイミングが異なります。

削除方式	バックアップ方式が「リアルタイム」の場合	バックアップ方式が「スケジュール」の場合
バックアップ先から削除する	バックアップ元ファイルを削除すると直ちにバックアップ先から削除する	次回スケジュール実行時にバックアップ先から削除する
オートコンプリータで削除する	オートコンプリータが実行されるタイミングでバックアップ先から削除する	

※ オートコンプリータとは、バックアップ方式をリアルタイムに設定しているバックアップ元に対して動作する機能です。

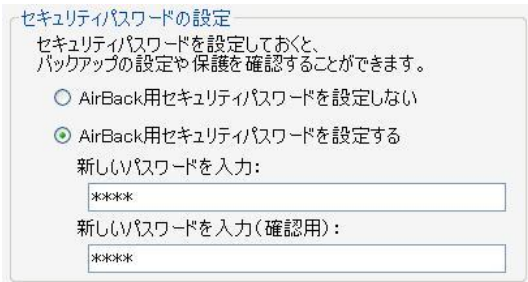
Air Back が起動してから 5 分後と、連続稼働であれば以降は前回のオートコンプリータ完了から 24 時間後にバックアップ元のスキャンを開始しバックアップ先と同期します。

3-8 セキュリティパスワードの設定

セキュリティパスワードの設定、Agent サービス実行権限を設定します。

※ 「かんたん設定」ではスキップされ、自動で「設定しない」「ローカルシステムアカウント」が選択されます。

<セキュリティパスワードの設定>



セキュリティパスワードを設定するかどうかを選択します。設定する場合は任意の文字列を半角英数字で入力してください。

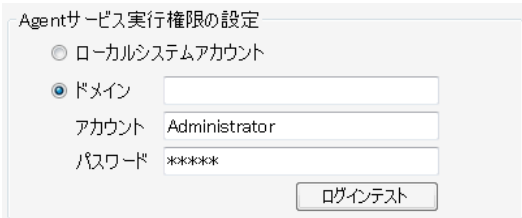
※ 半角英数字で 1～32 文字（英数字・記号・英大小文字は区別）

セキュリティパスワードは、データを暗号化する場合に設定したパスワードを開覧する際に使用します。

<Agent サービス実行権限の設定>

[ドメイン]を選択すると、Agent を動作させるユーザアカウントを指定できます。

バックアップ先がネットワークドライブの場合は、アカウント・パスワードの設定が必須です。

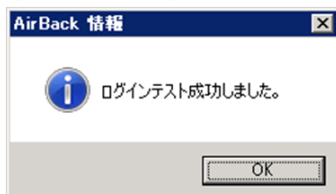


ドメイン（必要な場合のみ）、アカウント名、パスワードを入力します。

Administratorなどのバックアップ先フォルダにアクセスできるアカウント情報を入力してください。

※ 「ドメイン」項目でドメインを指定した場合はアクセス権もバックアップされます

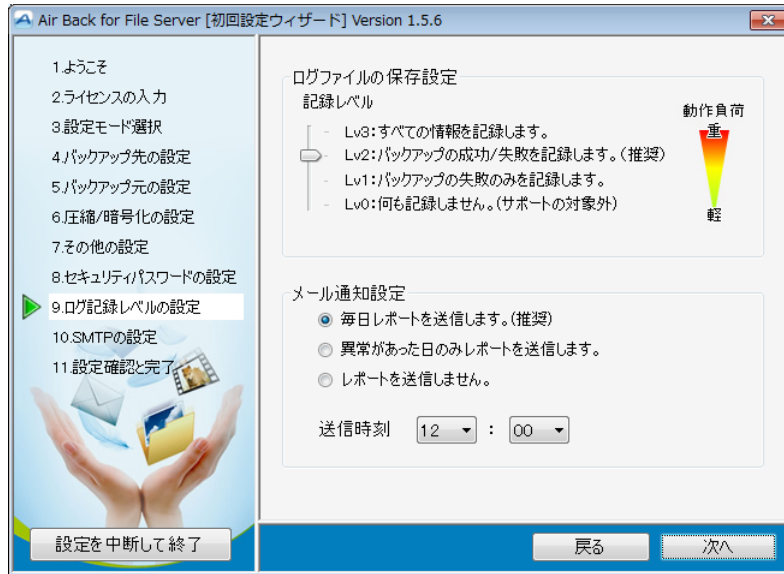
[ログインテスト]をクリックしてください。



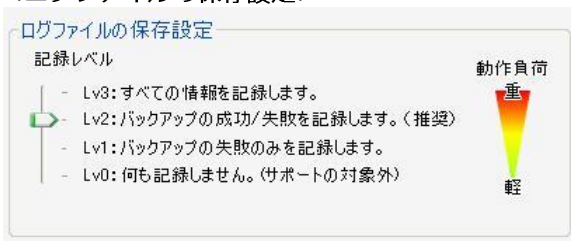
3-9 パフォーマンス設定

ログファイルの保存設定、バックアップ結果のメール通知について設定します。

※ 「かんたん設定」ではスキップされ、自動は「Lv2」「レポートを送信しません」が選択されます。



<ログファイルの保存設定>

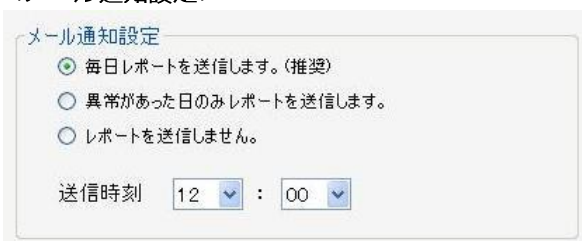


スライダーでログの記録レベルを変更します。

初期値は Lv2 です。ログレベルを低くすることでサーバへの負荷は減ります。

※ お問い合わせの際には一時的に Lv3 にして頂く場合があります。

<メール通知設定>



レポートを送信するかどうかと、送信する場合はその時刻を設定します。

3-10 SMTPの設定

レポートを送信する場合は、メールサーバ、メールアドレスを設定します。

※ [レポートを送信しません]を設定した場合はスキップされます。

※ 「かんたん設定」ではスキップされます。

<SMTP 設定>

SMTP 情報はご契約のプロバイダへ確認してください。

<メールアドレス設定>

送信者：レポートの送信に使用するメールアドレスを入力してください。

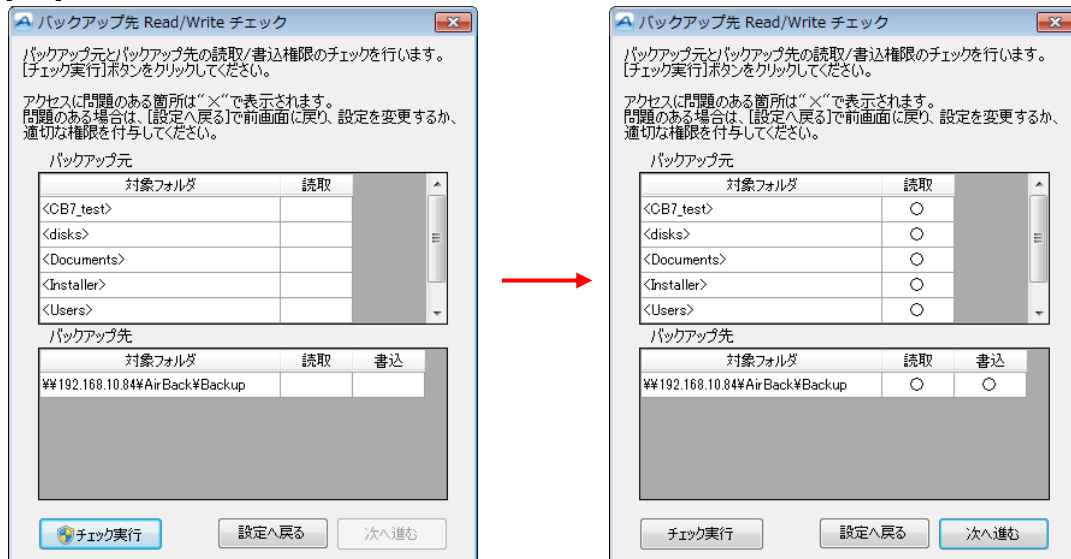
宛先1～3：レポートの送信先メールアドレスを入力してください。

テスト送信：レポートの送信テストを実施します。成功するとボタンの色が緑色に変わります。

3-11 初回設定の確認

設定を確認し、[完了]をクリックしてください。

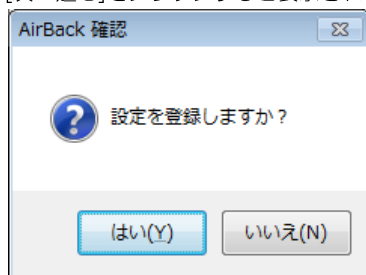
[完了]をクリックすると、バックアップ元とバックアップ先の読取／書込権限チェック画面が表示されます。



[チェック実行]をクリックします。

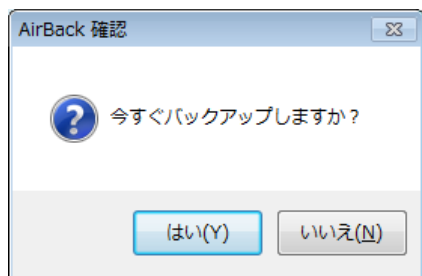
※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

[次へ進む]をクリックすると表示されます。



[はい]をクリックします。

※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。



[はい]をクリックすると、初回バックアップが開始されます。

[いいえ]をクリックしても初回バックアップは、オートコンプリータ時に開始されます。

※ 初回設定ウィザードでは、バックアップ方式は自動で「リアルタイム」が設定されます。

4 各種機能と設定

4-1 ホーム画面の機能

ホーム画面から各機能の設定画面に1クリックでアクセスできます。



バックアップ：バックアップ先とバックアップ元の設定を行います。

リストアと削除：データのリストア、検索、削除を行います。

オプション：隠し属性ファイルの除外、世代ファイルの保存方式、ファイル名・拡張子による除外、ログファイルの保存設定、バックアップ速度、オートコンプリータ、FAT タイムオプション、セキュリティパスワードの管理、Agent サービス実行権限、メール送信設定の設定・変更を行います。

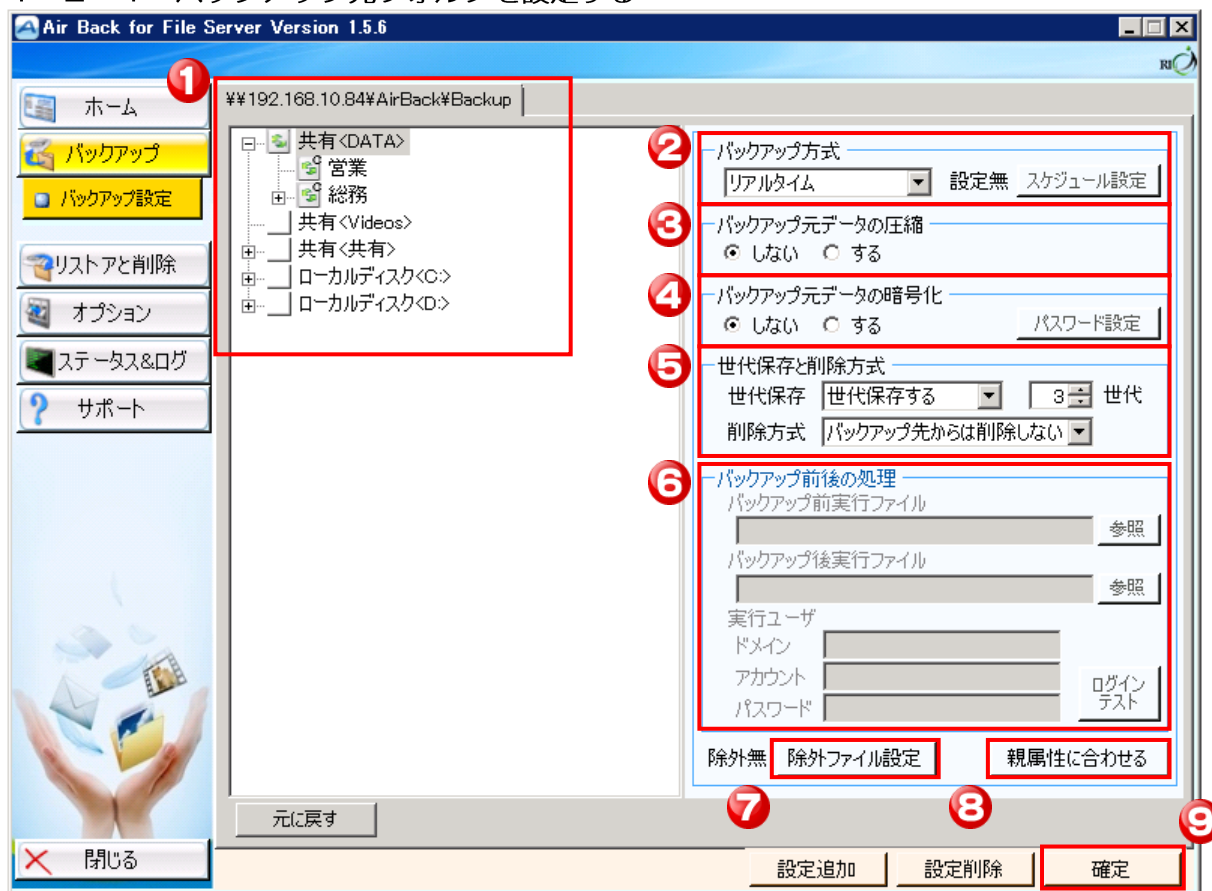
ステータス&ログ：バックアップログ、リストアログ、オペレーションログの閲覧を行います。

サポート：ライセンス登録、お客様情報登録、サポートデータ作成、お問い合わせ、マニュアルの表示が可能です。

4-2 バックアップ画面

ホーム画面で[バックアップ]をクリックすると表示されます。

4-2-1 バックアップ元フォルダを設定する

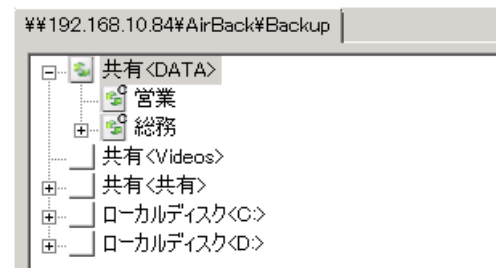


1. バックアップ元を選択します
2. バックアップ方式を選択します
3. 圧縮設定を行います（スキップ可）
4. 暗号設定を行います（スキップ可）
5. 世代と削除方式の設定を行います（スキップ可）
6. バックアップ前後の処理を設定します（スキップ可）
7. 除外ファイル設定を行います（スキップ可）
8. 親属性に合わせるか設定します（スキップ可）
9. [確定]をクリックし設定を反映させます

以下で各項目を説明します。

ステップ1 バックアップ元フォルダ選択

サーバ内に設定されている共有フォルダと、ローカルディスクが表示されるので、バックアップ元に設定するフォルダを選択します。



共有フォルダとローカルディスクは下記のように表示されます。

- ・共有フォルダ： 共有<共有名>
- ・ローカルディスク： ローカルディスク<ドライブレター>

ステップ2 バックアップ方式

選択したフォルダのバックアップ方式を選択します。



<リアルタイム>

ファイルの変化をリアルタイムに検知してバックアップする方式です。

<スケジュール>

スケジュールを選択後[スケジュール設定]をクリックして、設定した時刻にバックアップする方式です。



バックアップする週と曜日、時刻を選択して [確定]をクリックします。

<バックアップしない>

バックアップ元設定を解除する時に選択します。

ステップ3 圧縮方式の設定

選択したバックアップ元フォルダのバックアップデータを圧縮する/しないを選択します。

ステップ4 暗号化の設定

選択したバックアップ元フォルダのバックアップデータを圧縮する/しないを選択します。

暗号化する場合は、パスワードを半角英数字 1～16 文字で入力してください。

ステップ5 世代保存と削除方式の設定

選択したバックアップ元フォルダのデータの世代保存と削除方式を設定します。

<世代保存の設定>

上書きによるバックアップ時に古いファイルを世代として保存するかどうかの設定です。1～99 世代の範囲で世代を保存できます。世代を保存しておく、と、誤って上書きした際に世代ファイルからの復旧が可能になります。

「世代保存する」を選択した場合は保存する世代数を指定してください。

<削除方式の設定>

バックアップ元から削除されたファイルをバックアップ先からも削除することができます。

「時間をあけて削除する」を設定した場合はリアルタイム方式でもバックアップ元から削除されたファイルがバックアップ先からすぐに削除されることはありません。

※ バックアップ方式によってバックアップ先にあるバックアップファイルを削除するタイミングが異なります。

削除方式	バックアップ方式が「リアルタイム」の場合	バックアップ方式が「スケジュール」の場合
バックアップ先から削除する	バックアップ元ファイルを削除すると直ちにバックアップ先から削除する	次回スケジュール実行時にバックアップ先から削除する
オートコンプリータで削除する	オートコンプリータが実行されるタイミングでバックアップ先から削除する	

※ オートコンプリータとは、バックアップ方式をリアルタイムに設定しているバックアップ元に対して動作する機能です。

Air Back が起動してから 5 分後と、連続稼動であれば以降は前回のオートコンプリータ完了から 24 時間後にバックアップ元のスキャンを開始しバックアップ先と同期します。

ステップ6 バックアップ前後の処理

スケジュールバックアップ方式を選択した場合、バックアップ前後にバッチファイル等を実行することができます。
どちらか片方だけの実行も可能です。

バックアップ前後の処理

バックアップ前実行ファイル

バックアップ後実行ファイル

実行ユーザ

ドメイン

アカウント

パスワード

参照

参照

ログインテスト

実行ユーザを入力して、[ログインテスト]をクリックします。

※ ドメインは必要な場合のみ



ステップ7 除外ファイルを設定する

選択したバックアップ元フォルダからバックアップしないファイルを除外します。
[除外ファイル設定]をクリックします。

除外したいファイルがある場合は、チェックボックスからチェックを外します。

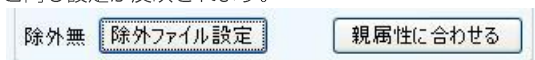


[全選択]：表示されているバックアップファイルをすべて選択します。

[全解除]：全ファイルの選択を解除します。

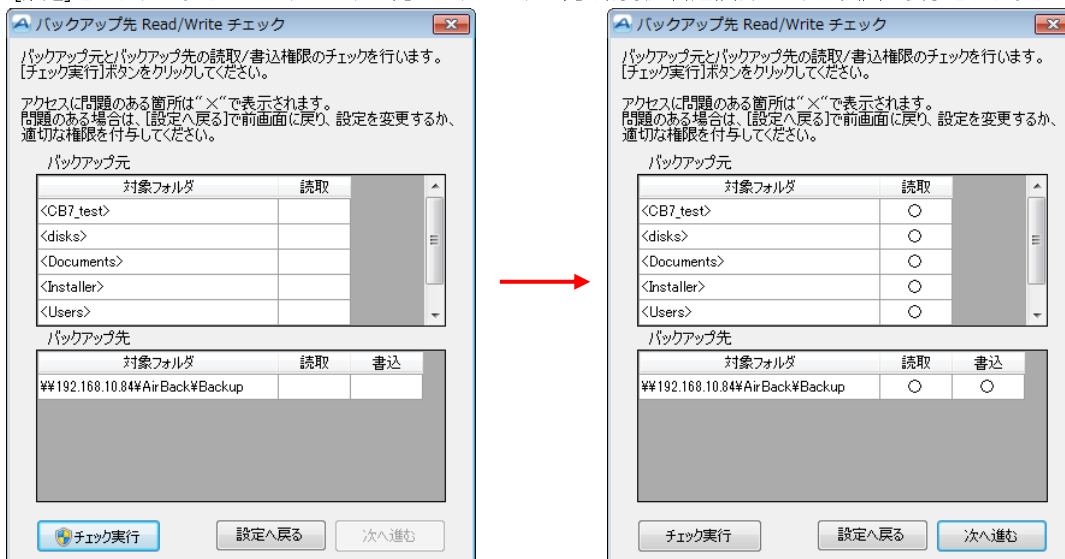
ステップ8 親属性に合わせる

選択したバックアップ元フォルダが上位フォルダのバックアップ設定と異なる場合にクリックすると、上位フォルダのバックアップ設定と同じ設定が反映されます。



ステップ9 設定を確定する

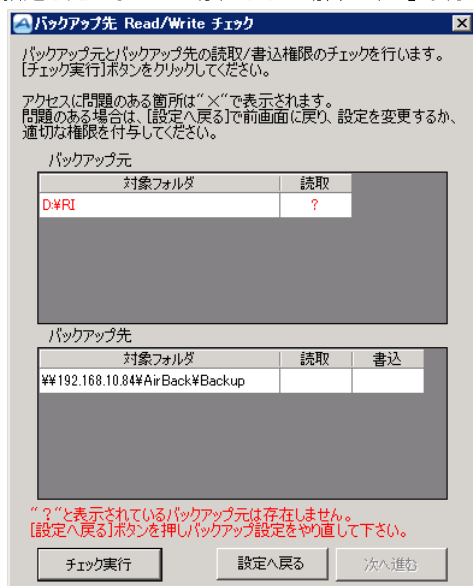
[確定]をクリックすると、バックアップ元とバックアップ先の読取／書込権限チェック画面が表示されます。



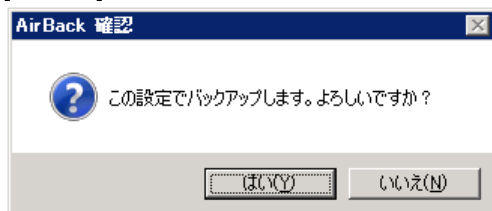
[チェック実行]をクリックします。

※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

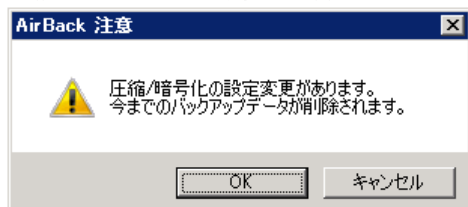
指定したフォルダが存在しない場合は「？」表示になりますので、バックアップ元から外してください。



[次へ進む]をクリックすると表示されます。

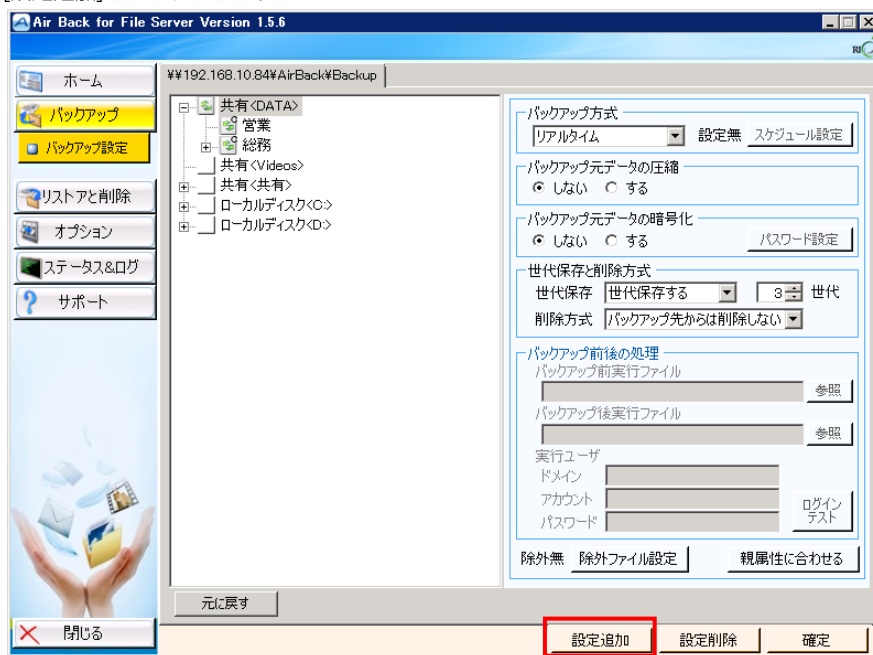


圧縮/暗号化の設定を変更した場合は、今までのバックアップデータが削除されます。



4-2-2 バックアップ先を追加する ステップ1

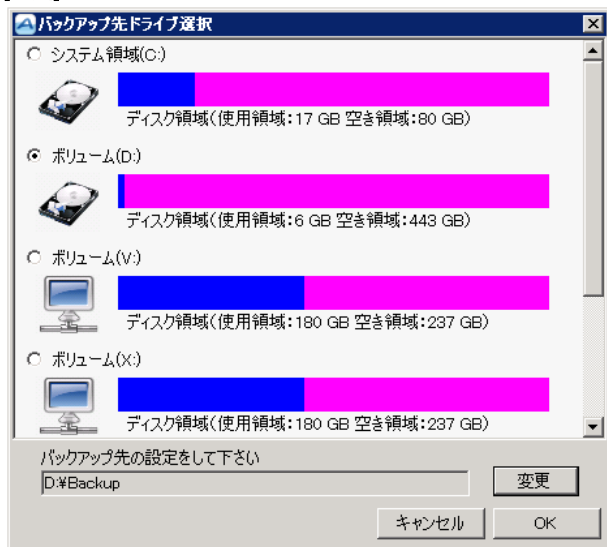
[設定追加]をクリックします。



ステップ2

バックアップ先に設定可能なドライブが表示されますので、チェックを入れて [次へ]をクリックします。

[変更]をクリックして任意のフォルダをバックアップ先に指定することもできます。



指定した場所には「R」フォルダが作成され、その中にバックアップデータが転送されます。

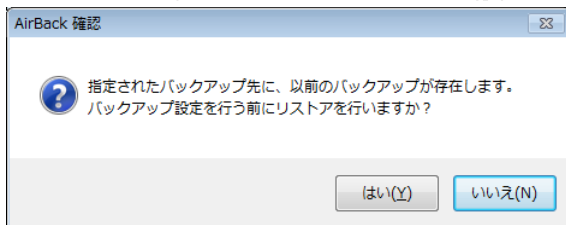
例：Z ドライブをバックアップ先に指定した場合

Z:\R\N\$AFS フォルダが作成され、その中の「SP」または「LD」フォルダにバックアップデータが転送されます。

※ ネットワークドライブは事前に割り当ててること一覧に表示されます。

※ CD/DVD 等の光学メディアやテープメディアなどはバックアップ先として指定できません。

<バックアップ先にバックアップデータが存在した場合>



以前バックアップしたデータが存在した場合に表示されます。

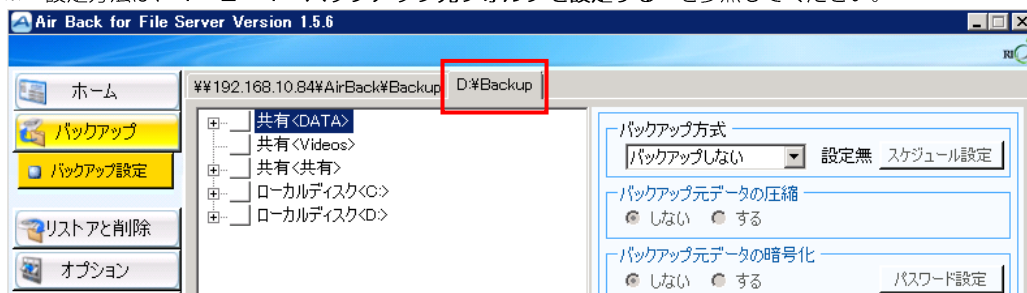
[はい]をクリックすると、リストアツールが起動します。

[いいえ]をクリックすると初回設定ウィザード終了時にすべて削除されますのでご注意ください。

ステップ3

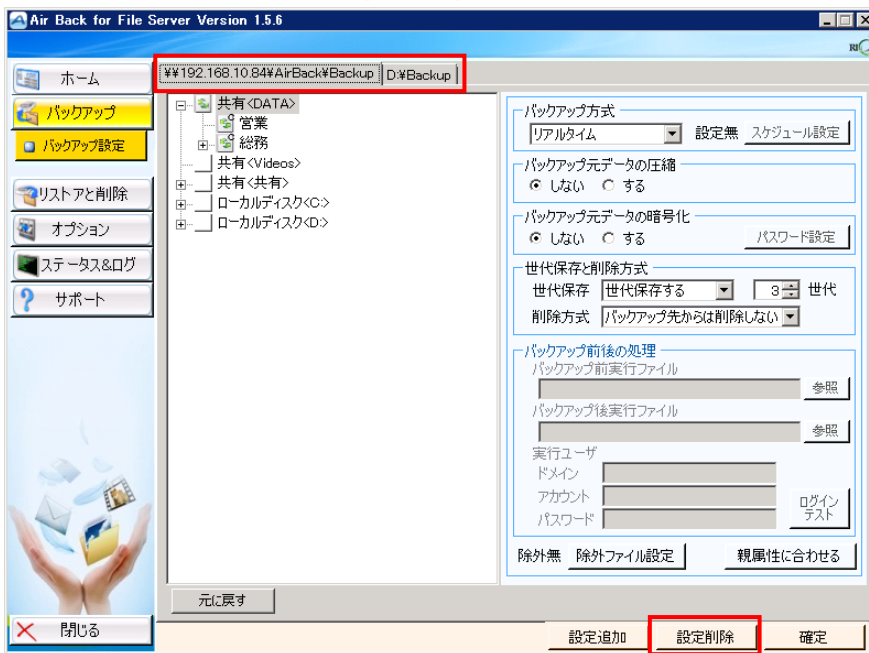
追加されたバックアップ先に対してのバックアップ元フォルダを設定してください。

※ 設定方法は、4-2-1 バックアップ元フォルダを設定する を参照してください。



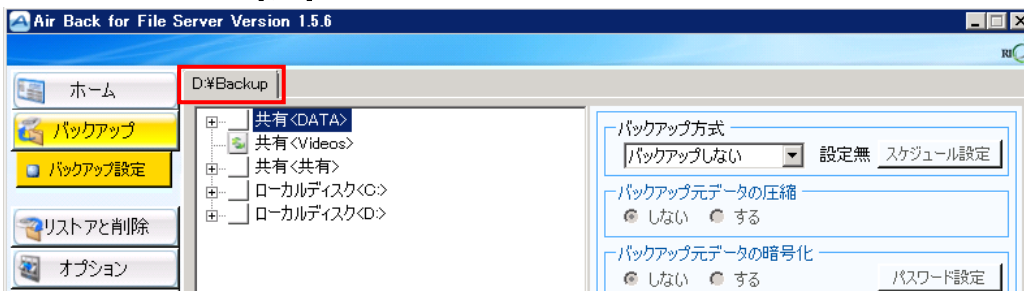
4-2-3 バックアップ先を削除する

削除したいバックアップ先を選択して[設定削除]をクリックします。



※ [確定]をクリックするまでは反映されません。

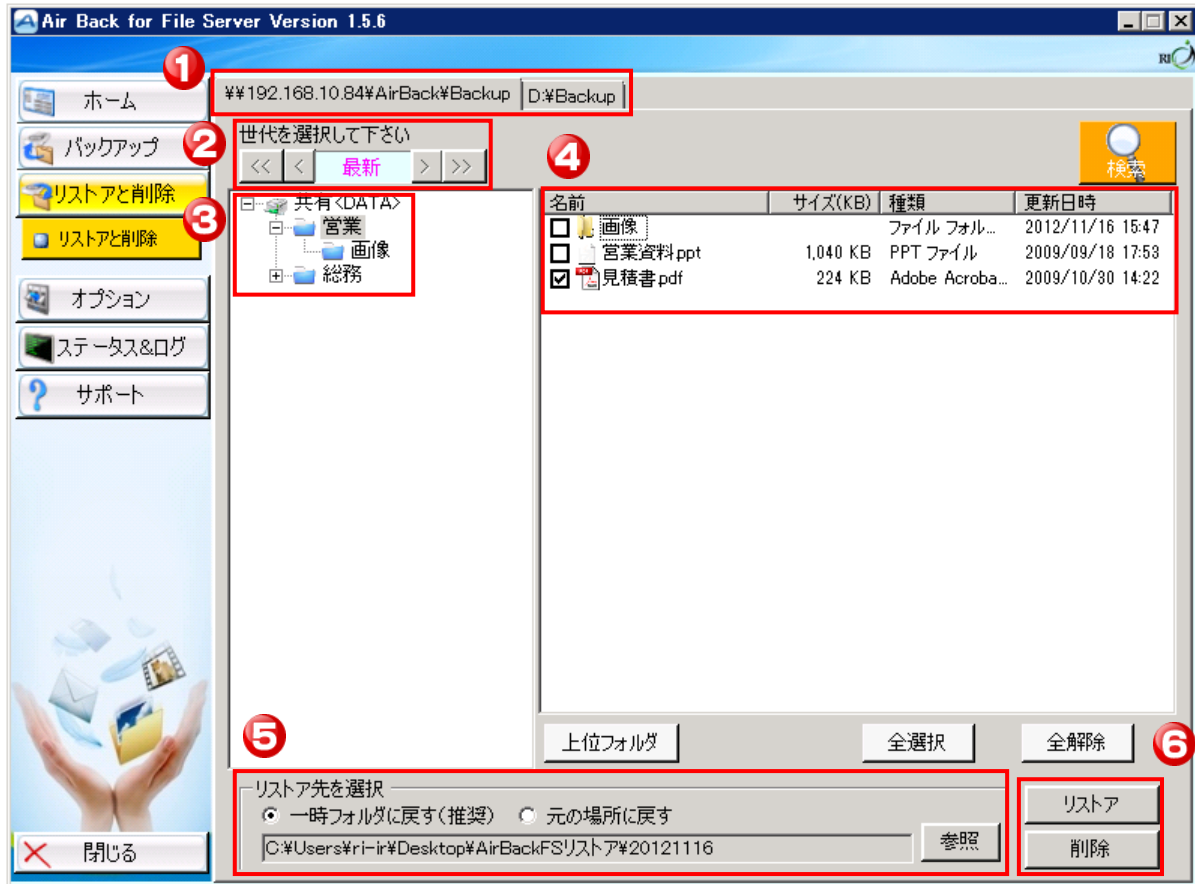
バックアップ先が消えたら[確定]をクリックします。



4-3 リストアと削除

ホーム画面[リストアと削除]をクリックします。

リストアや削除したいファイルやフォルダを選択して[リストア]または[削除]をクリックします。



1. バックアップ先タブを選択します
2. 世代を選択します
3. リストアしたいファイルやフォルダを探します
4. リストアしたいファイルやフォルダにチェックを入れます
5. リストアする場所を選択します
6. [リストア]または[削除]をクリックします

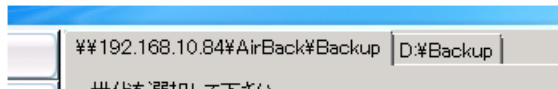
その他のボタンについて

- [検索]・・・ 検索ウインドウを表示します
- [上位フォルダ]・・・ 現在表示されている上位階層を表示します
- [全選択]・・・ 現在表示されているファイルやフォルダ全てにチェックを入れます
- [全解除]・・・ 現在表示されているファイルやフォルダ全てのチェックを外します

以下で各項目を説明します。

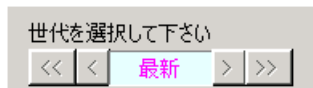
ステップ1

リストア、または削除したいデータが存在するバックアップ先をクリックします。



ステップ2

リストア、または削除したいデータが存在する世代を選択します。



<<：最新のバックアップファイルを表示します。

<：1 世代新しいファイルを表示します。

>>：最も古い世代ファイルを表示します。

>：1 世代古いファイルを表示します。

ステップ3

ツリーを展開してリストアしたいファイルがあるフォルダを選択します。



ステップ4

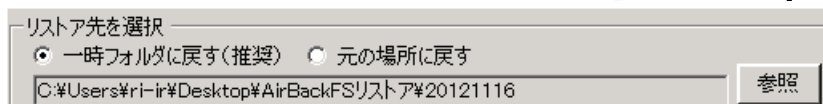
リストアしたいファイルやフォルダにチェックを入れます

名前	サイズ(KB)	種類	更新日時
<input type="checkbox"/> 画像		ファイル フォル...	2012/11/16 15:47
<input type="checkbox"/> 営業資料.ppt	1,040 KB	PPT ファイル	2009/09/18 17:53
<input type="checkbox"/> 見積書.pdf	224 KB	Adobe Acroba...	2009/10/30 14:22

ステップ5

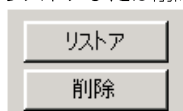
リストア先を[一時フォルダ]か[元の場所]か選択します

一時フォルダの初期値はデスクトップの「AirBackFS リストア」フォルダです。[参照]ボタンから任意のフォルダに変更できます。



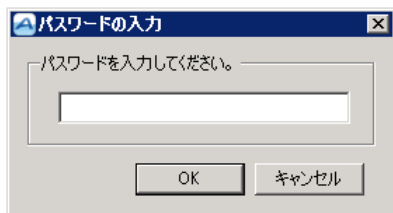
ステップ6

リストアまたは削除を実行します。

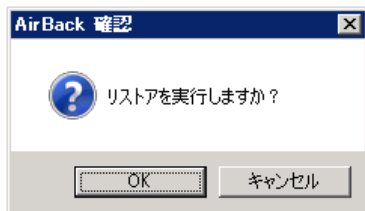


4-3-1 リストアを実行する

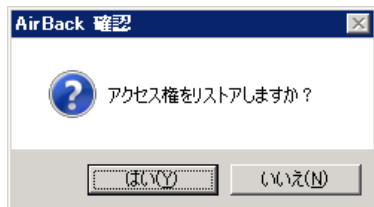
暗号化をしている場合は、パスワード入力画面が表示されます。



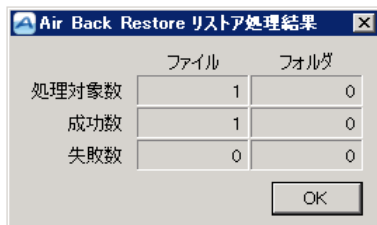
[リストア]をクリックすると表示されます



ドメインを指定している場合に表示されます。

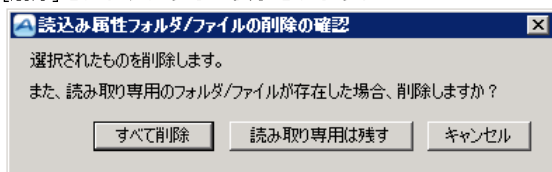


リストア結果が表示されます。



4-3-2 削除を実行する

[削除]をクリックすると表示されます。



すべて削除： 選択したファイルやフォルダ全てを削除します

読み取り専用は残す： 選択したファイルやフォルダの中の読み取り専用ファイルは残します

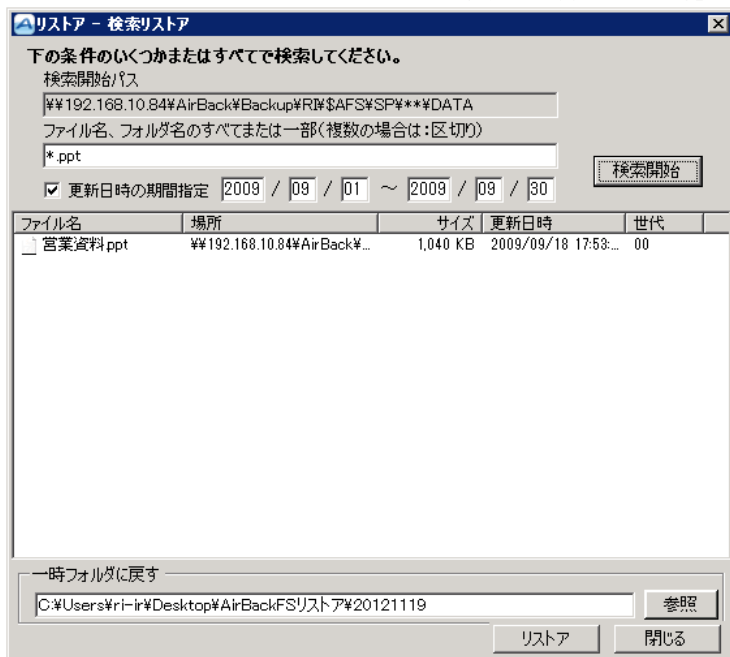
キャンセル： 削除をキャンセルします

4-3-3 検索を使用する

ツリーを展開してフォルダを選択し、[検索]をクリックします。



「ファイル名、フォルダ名のすべてまたは一部（複数の場合は：区切り）」に、検索したい文字を入力します。



アスタリスク (*) を使用できます。複数指定の場合は半角コロン (:) を使用してください。

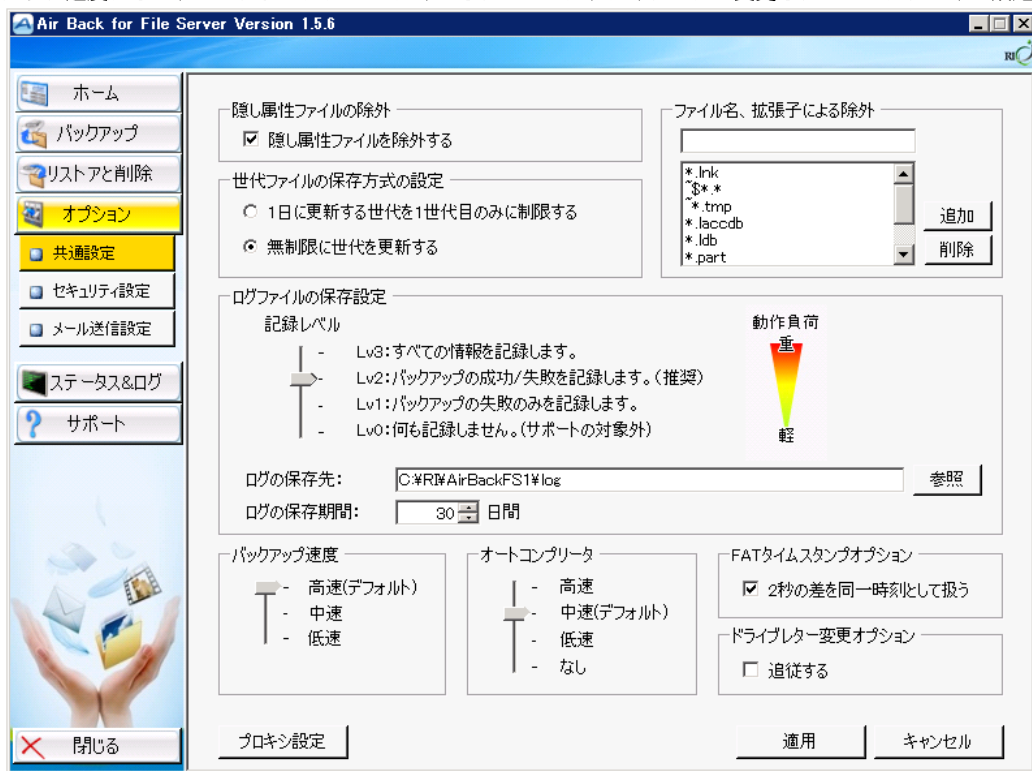
更新日時を指定して検索することもできます。

4-4 オプション

ホーム画面で[オプション]をクリックします。共通設定、セキュリティ設定、メール送信設定を行います。

4-4-1 共通設定

共通設定では、隠し属性ファイルの除外、世代ファイルの保存方式、ファイル名・拡張子による除外、ログファイルの保存設定、バックアップ速度、オートコンプリータ、FAT タイムオプション、ドライブレター変更オプション、プロキシ設定を行います。

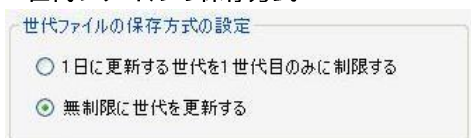


<隠し属性ファイルの除外>



隠し属性ファイルをバックアップ対象から除外します。

<世代ファイルの保存方式>



1日に更新する世代を1世代目のみに限定する：1日に何度ファイルが更新されても、当日は最新と1世代目のみが更新され、2世代目以降は更新されません。この設定を有効にする場合は保存する世代数を2以上にしてください。

無制限に世代を更新する：ファイルが更新される度に世代ファイルも更新されます。

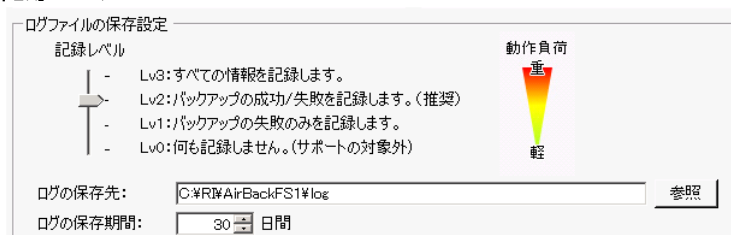
<ファイル名・拡張子による除外>



すべてのバックアップ元から指定したファイルを除外します。ファイル名または拡張子を入力して追加ボタンをクリックすると除外対象として設定されます。

<ログファイルの保存設定>

記録レベル



スライダでログの記録レベルを変更します。

初期値はLv2です。ログレベルを低くすることでサーバへの負荷は減ります。


※ お問い合わせの際には一時的にLv3にして頂く場合があります。

ログの保存先



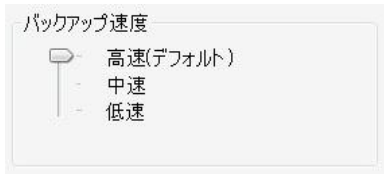
[参照]をクリックしてバックアップ先のフォルダを選択します。

ログの保存期間



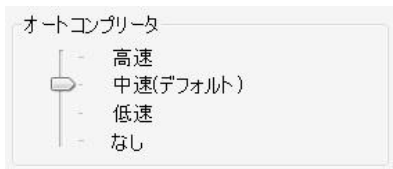
日数を変更できます。

<バックアップ速度>



スライダでバックアップ速度を変更します。速度を遅くすることでサーバへの負荷は減ります。

<オートコンプリータ>

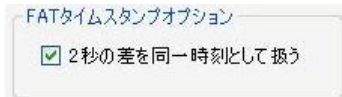


スライダでオートコンプリータの速度を変更します。

※ オートコンプリータとは、バックアップ方式をリアルタイムに設定しているバックアップ元に対して動作する機能です。

Air Back が起動してから 5 分後にバックアップ元のスキャンを開始しバックアップ先と同期します。

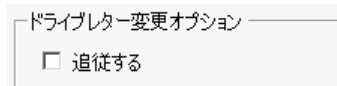
<FAT タイムスタンプオプション>



2 秒の差を同一時刻として扱いバックアップを実行します。

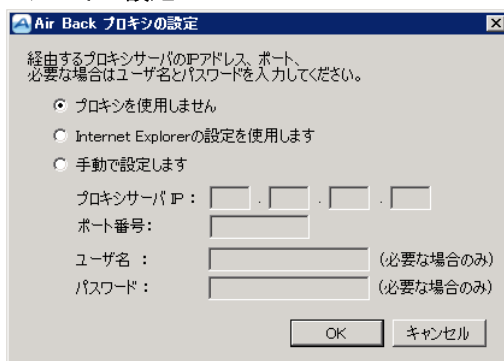
※ FAT フォーマット上ではタイムスタンプが偶数秒に変換されるため、FAT フォーマットのドライブへバックアップを行うとバックアップ元ファイルとのタイムスタンプに差異が生じてしまいます。FAT フォーマットのドライブへバックアップを行う場合は有効にしてください。

<ドライブレター変更オプション>



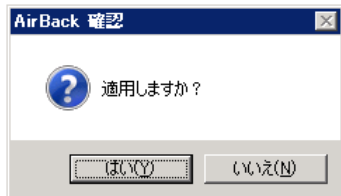
チェックを入れるとバックアップ先が存在しない時に、新たなドライブを検出すると自動でバックアップ先に設定されます。

<プロキシ設定>



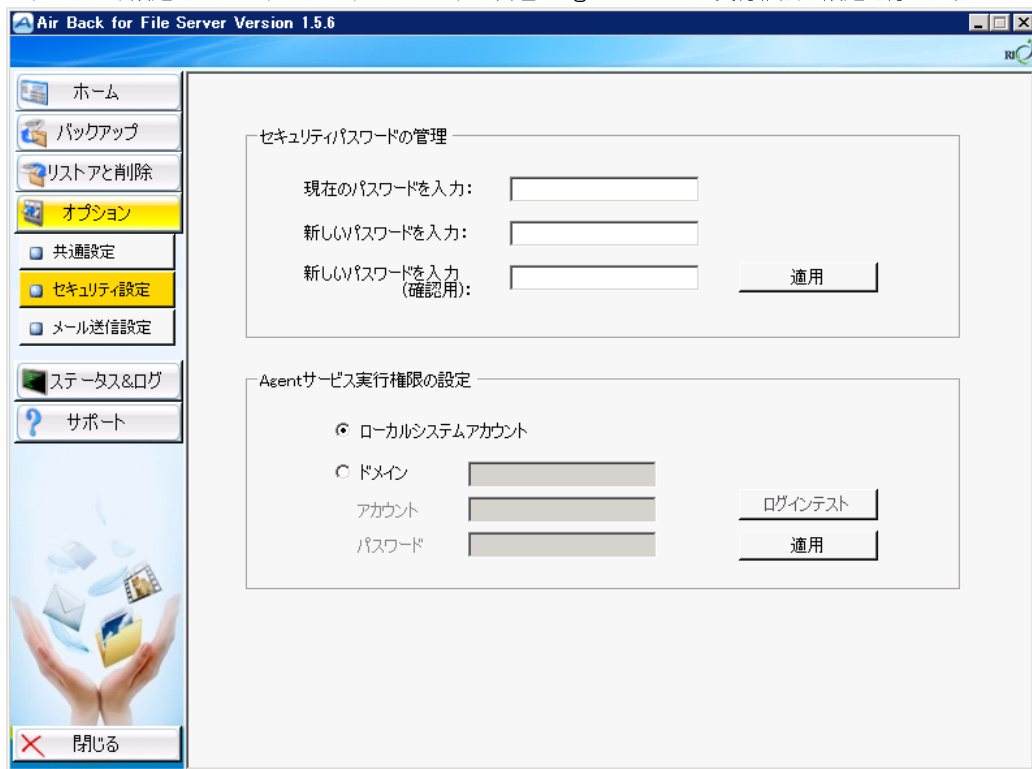
Internet Explorer に設定されている値を使用するか、手動で設定します。

共通設定の各種項目変更を行ったら、[適用]をクリックします。



4-4-2 セキュリティ設定

セキュリティ設定では、セキュリティパスワードの管理、Agent サービス実行権限の設定を行います。



<セキュリティパスワードの管理>

ファイルの暗号化に使用する暗号パスワードの確認に使用します。

新しいセキュリティパスワードを適用するためには現在のセキュリティパスワードの入力が必要です。

※ 半角英数字で 1～32 文字（英数字・記号・英大小文字は区別）



各セキュリティパスワードを入力し[適用]をクリックします。

<Agent サービス実行権限の設定>

[ドメイン]を選択すると、Agent を動作させるユーザアカウントを指定できます。

バックアップ先がネットワークドライブの場合は、アカウント・パスワードの設定が必須です。



Agentサービス実行権限の設定

☐ ローカルシステムアカウント

☒ ドメイン

アカウント: Administrator

パスワード: *****

ログインテスト (緑色)

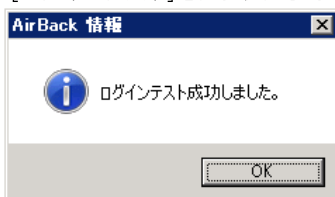
適用

ドメイン（必要な場合のみ）、アカウント名、パスワードを入力します。

Administrator などのバックアップ先フォルダにアクセスできるアカウント情報を入力してください。

※ 「ドメイン」項目でドメインを指定した場合はアクセス権もバックアップされます

[ログインテスト]をクリックしてください。



ログインテストに成功すると[ログインテスト]は緑色で表示されます。

4-4-3 メール送信設定

レポートを送信する場合は、メールサーバ、メールアドレス、メール通知を設定します。



Air Back for File Server Version 1.5.6

ホーム
バックアップ
リストアと削除
オプション
共通設定
セキュリティ設定
メール送信設定
ステータス&ログ
サポート

SMTP設定

設定

サーバ名: ポート番号: 25

セキュリティと認証

☐ ユーザ名とパスワードの使用 ユーザ名: パスワード:

☐ 保護された認証の使用

接続の保護: なし

メールアドレス設定

送信者: テスト送信

宛先1: テスト送信

宛先2: テスト送信

宛先3: テスト送信

メール通知設定

☐ 毎日レポートを送信します。(推奨)

☐ 異常があった日のみレポートを送信します。

☒ レポートを送信しません。

送信時刻 12 : 00

適用

キャンセル

閉じる

<SMTP 設定>

SMTP 情報はご契約のプロバイダへ確認してください。

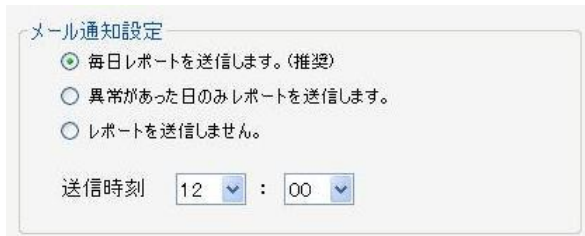
<メールアドレス設定>

送信者：レポートの送信に使用するメールアドレスを入力してください。

宛先1～3：レポートの送信先メールアドレスを入力してください。

テスト送信：レポートの送信テストを実施します。成功するとボタンの色が緑色に変わります。

<メール通知設定>



メール通知設定

☒ 毎日レポートを送信します。(推奨)

☐ 異常があった日のみレポートを送信します。

☐ レポートを送信しません。

送信時刻 12 : 00

毎日レポートを送信します： 設定した送信時刻にレポートが送信されます。

異常があった日のみレポートを送信します： バックアップのエラーが1件以上あった場合にレポートを送信します。

レポートを送信しません： レポートを送信しない設定です。

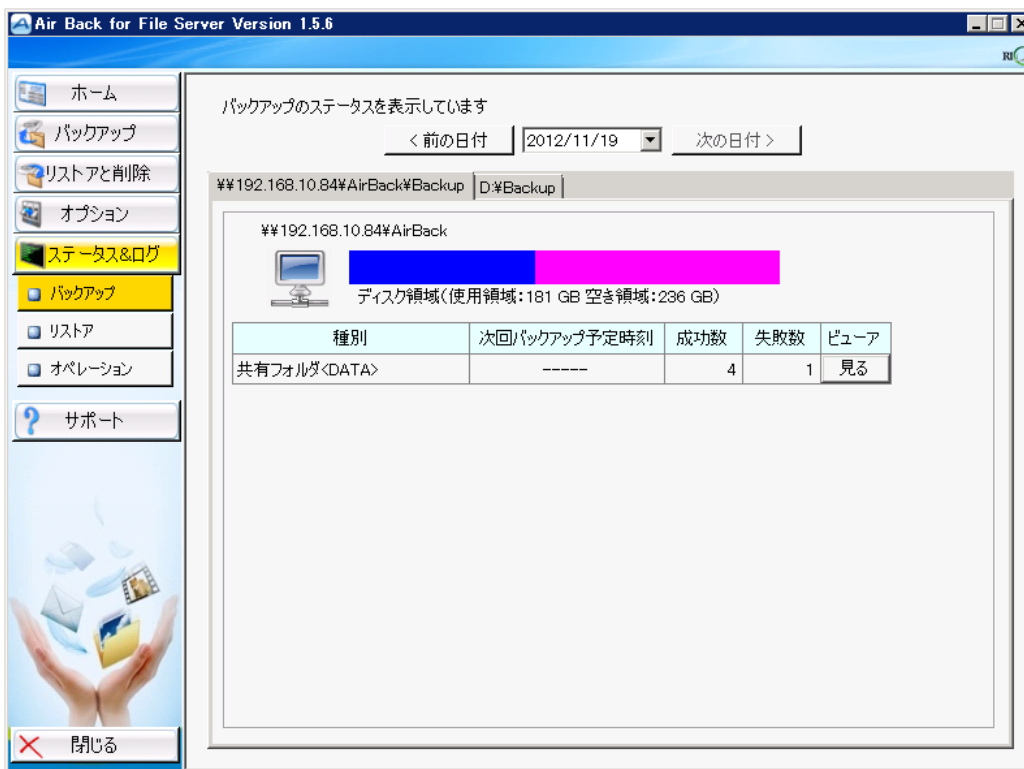
4-5 ステータス&ログ

ホーム画面で[ステータス&ログ]をクリックします。

[ステータス&ログ]では、バックアップログ、リストアログ、オペレーションログの閲覧を行います。

4-5-1 バックアップログ

バックアップログとバックアップ先のディスク使用状況を表示します。



バックアップのステータスを表示しています

< 前の日付 2012/11/19 次の日付 >

¥¥192.168.10.84¥¥AirBack¥¥Backup | D:¥¥Backup

¥¥192.168.10.84¥¥AirBack

ディスク領域(使用領域:181 GB 空き領域:236 GB)

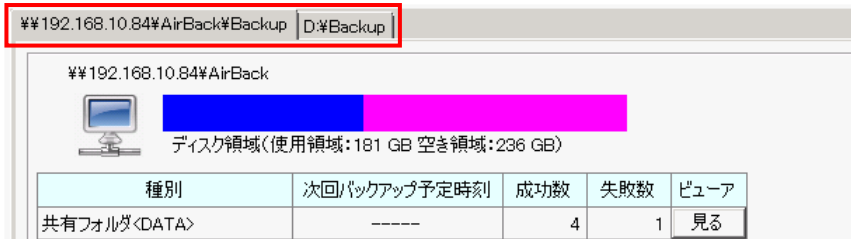
種別	次回バックアップ予定時刻	成功数	失敗数	ビューア
共有フォルダ<DATA>	-----	4	1	見る

バックアップログでは日付、バックアップ先、バックアップ元ごとにバックアップログの詳細を閲覧できます。

閲覧したいログの日付を選択します。

[前の日付]、[西暦表示]、[次の日付]のいずれかをクリックします。

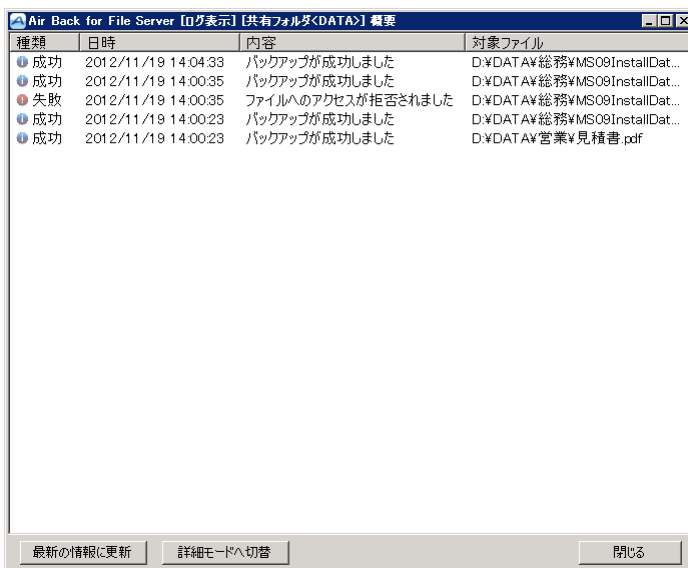
閲覧したいログのバックアップ先タブをクリックします。



成功数： バックアップに成功した数です。

失敗数： バックアップに失敗した数です。

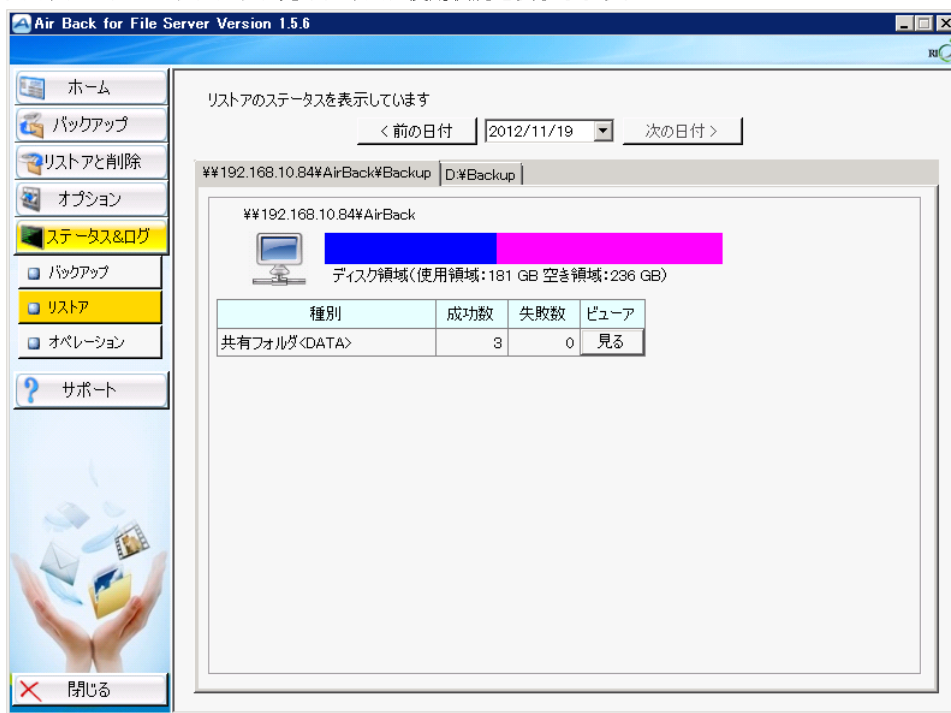
ビューア： [見る]をクリックするとログの詳細が表示されます。



※ [詳細モードへ切替]は、ログ記録レベルがLv3 の場合のみ詳細が表示されます。

4-5-2 リストアログを閲覧する

リストアログとバックアップ先のディスク使用状況を表示します。



リストアログでは日付、バックアップ先、バックアップ元ごとにリストアログの詳細を閲覧できます。
閲覧したいログの日付を選択します。

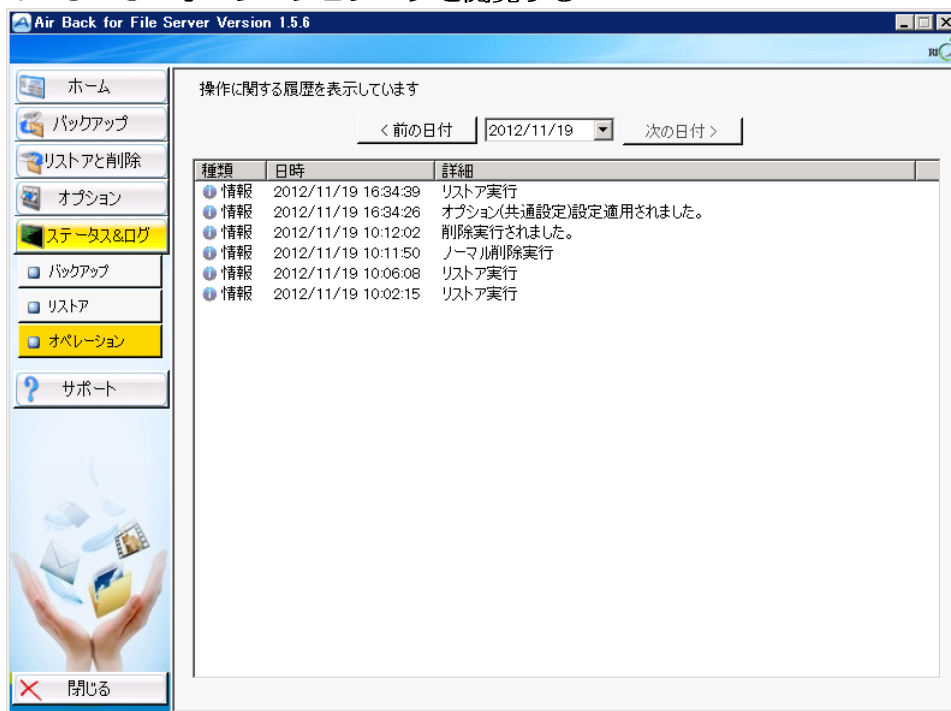
[前の日付]、[西暦表示]、[次の日付]のいずれかをクリックします。

成功数： リストアに成功した数です。

失敗数： リストアに失敗した数です。

ビューア： [見る]をクリックするとログの詳細が表示されます。

4-5-3 オペレーションログを閲覧する



オペレーションログでは日付ごとにオペレーションログの詳細を閲覧できます。

閲覧したいログの日付を選択します。

[前の日付]、[西暦表示]、[次の日付]のいずれかをクリックします。

4-6 サポート

ホーム画面で[サポート]をクリックします。

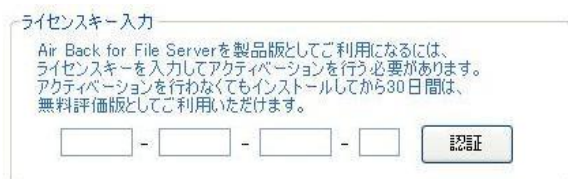
[サポート画面]ではお客様情報登録、サポートデータ作成、お問い合わせ、マニュアルの機能を使用できます。



4-6-1 ライセンスキー入力

初回設定ウィザードでライセンスキーの入力をスキップした場合は、こちらからライセンス認証が可能です。

ライセンスキーを入力して[認証]をクリックします。

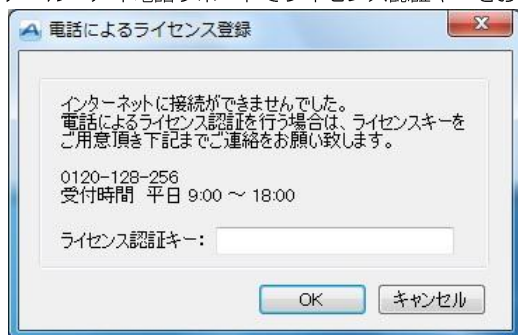


※ 製品版の場合は必ず行ってください。

※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

<インターネットに接続できない場合>

アール・アイ電話サポートでライセンス認証キーをお問い合わせいただき以下のダイアログに入力してください。



電話によるライセンス登録

インターネットに接続できませんでした。
電話によるライセンス認証を行う場合は、ライセンスキーをご用意頂き下記までご連絡をお願い致します。

0120-128-256
受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

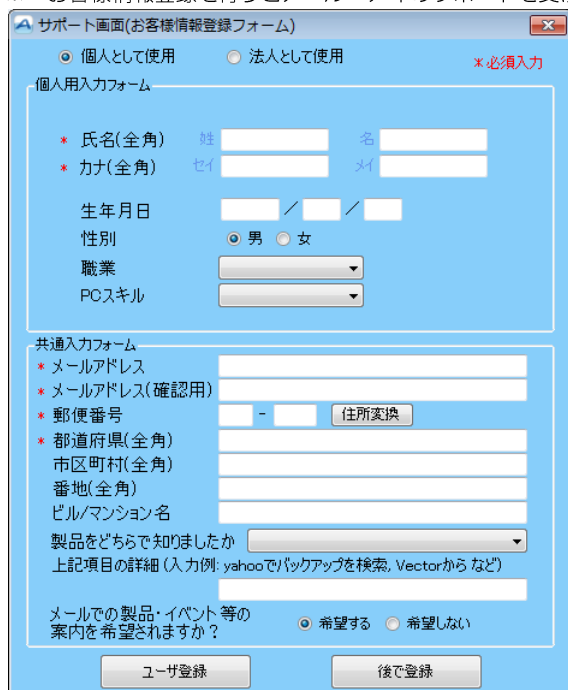
ライセンス認証キー:

OK キャンセル

4-6-2 お客様情報登録

ライセンス認証後に表示されるサポート画面(お客様情報登録フォーム)で[キャンセル]をクリックした場合は、こちらからお客様情報登録を行うことができます。

※ お客様情報登録を行うとアール・アイのサポートを受けることができます。



サポート画面(お客様情報登録フォーム)

☒ 個人として使用 ☐ 法人として使用 ※必須入力

個人用入力フォーム


* 氏名(全角) 姓 名
* カナ(全角) セイ メイ
生年月日 / /
性別 ☒ 男 ☐ 女
職業
PCスキル

共通入力フォーム

* メールアドレス
* メールアドレス(確認用)
* 郵便番号 -
* 都道府県(全角)
市区町村(全角)
番地(全角)
ビル/マンション名
製品をどちらで知りましたか
上記項目の詳細(入力例: yahooでバックアップを検索, Vectorから など)
メールでの製品・イベント等の案内を希望されますか? ☒ 希望する ☐ 希望しない

ユーザ登録 後で登録

お客様情報を入力し、[ユーザ登録]をクリックします。

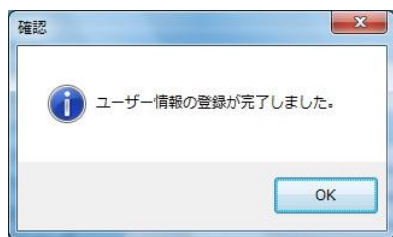


確認

ユーザー情報を登録します。
よろしいですか?

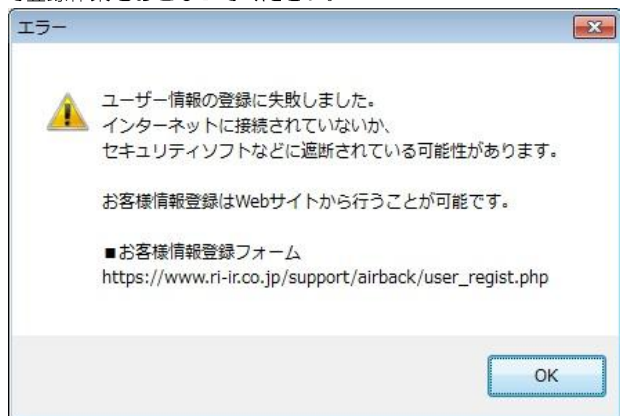
はい(Y) いいえ(N)

[はい]をクリックします。



<インターネットに接続できない場合>

以下のメッセージが表示された場合は、インターネットに接続できる状態の機器から「お客様情報登録フォーム」のURLにアクセスして登録作業をおこなってください。



<お客様情報登録フォームの画面>

https://www.ri-ir.co.jp/support/airback/user_regist.php



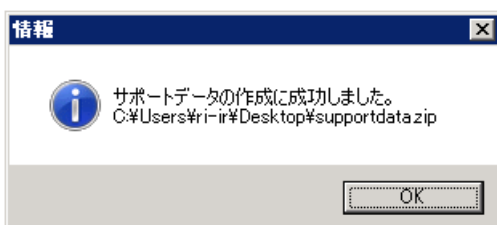
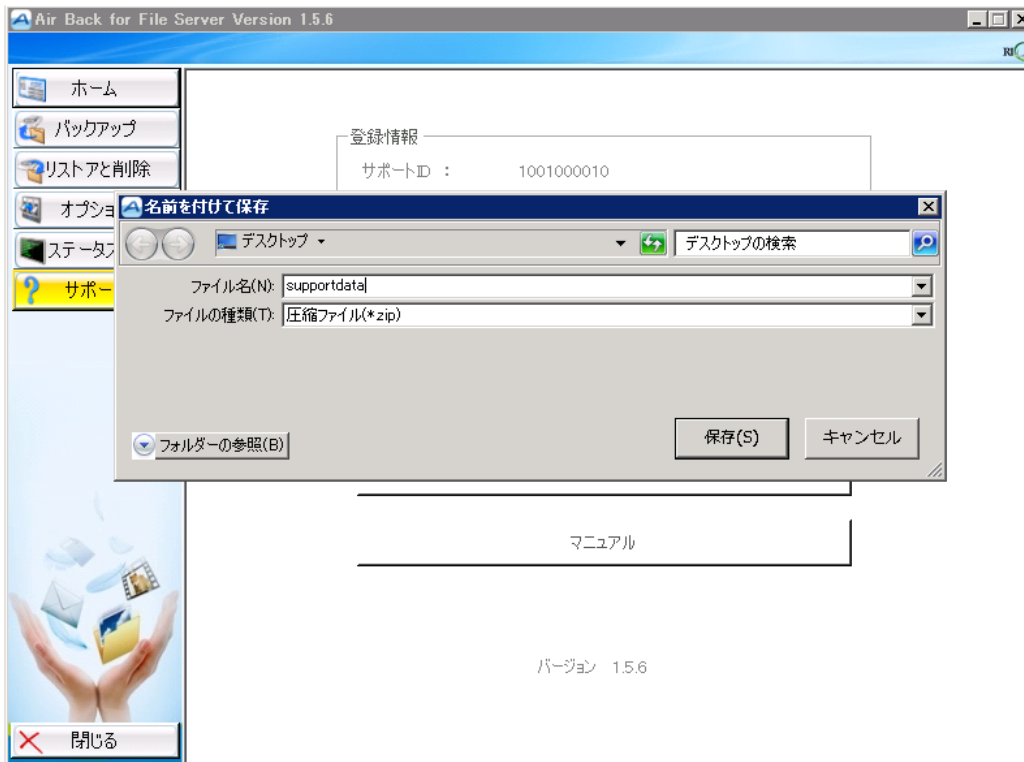
必要な項目を入力して[ユーザ登録実行]をクリックしてください。

4-6-3 サポートデータ作成

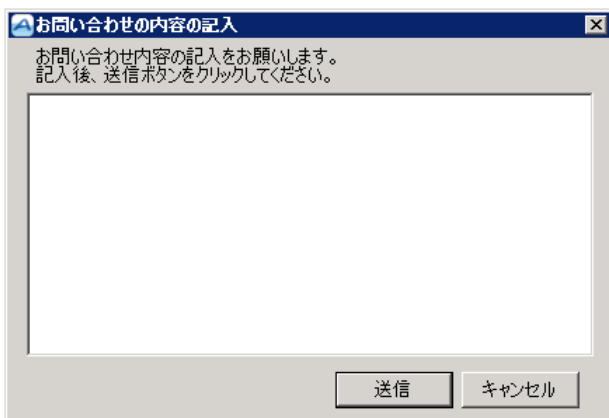
サポートデータ作成

クリックすると、サポートデータを作成して zip ファイルで保存します。

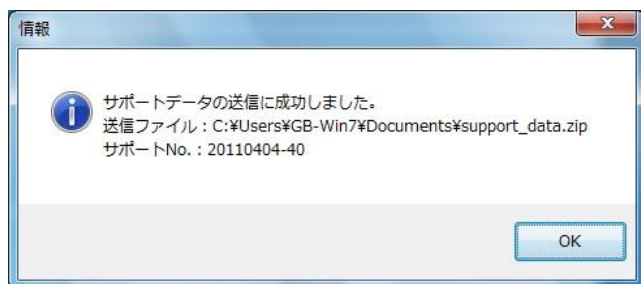
- ※ 任意の名前を付けて保存してください
- ※ ライセンスキー入力後に使用できます。



[OK]をクリックします。



お問い合わせ内容を記入して[送信]をクリックします。



[OK]をクリックします。

※ インターネットに接続されていない場合は 4-6-4 お問い合わせ を参照してください。

4-6-4 お問い合わせ

アール・アイホームページのサポートフォームに移行します。

https://www.ri-ir.co.jp/support/airback/support_form.php



ライセンスキー、サポートID、ご登録メールアドレスを入力してサポートフォームに進んでください。

Air Back サポートフォーム	
お問い合わせ種別 (必須)	項目を選択してください 必須入力です。選択してください。
お問い合わせ内容 (必須)	 必須入力です。入力してください。
サポートファイル	<div>参照...</div> サポートデータ作成ボタンより作成したzipファイルを選択して下さい

※入力漏れなどがある場合は、次の画面に表示されます。

お問い合わせ内容を記入し、[上記内容を送信する]をクリックします。

※ サポートデータがある場合は[参照]をクリックして添付してください。

※ インターネットに接続されていない場合はインターネットに接続されている他のコンピュータからアール・アイのホームページをご

ご覧いただきお問い合わせください。

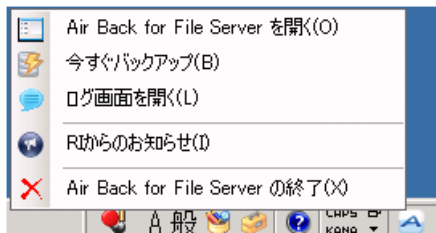
4-6-5 マニュアル

マニュアルが表示されます。マニュアルはスタートメニューから表示することもできます。

5 Air Back アイコンと表示されるメッセージについて

5-1 コンテキストメニューを開く

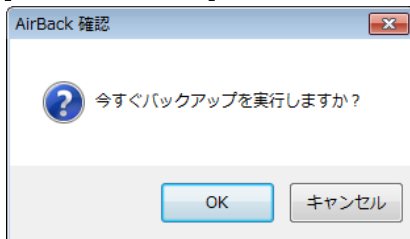
タスクトレイのアイコンにマウスカーソルを移動します。アイコンの上で右クリックするとコンテキストメニューが開きます。



コンテキストメニューから以下の操作が可能です。

[Air Back for File Server を開く]： ホーム画面を開きます。

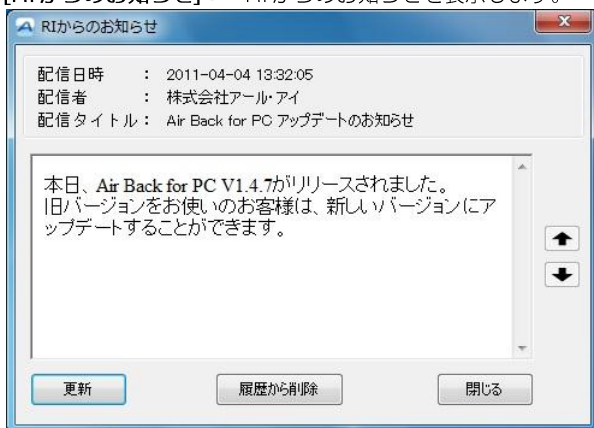
[今すぐバックアップ]： 設定したバックアップ元を今すぐバックアップ開始します。



[OK]をクリックするとバックアップが開始されます。

[ログ画面を開く]： ステータス&ログ画面を開きます

[RIからのお知らせ]： RIからのお知らせを表示します。

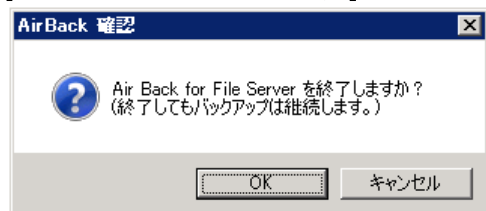


[更新]： 表示を更新します。

[履歴から削除]： 取得したお知らせを削除します。

[閉じる]： 画面を閉じます。

[Air Back for File Serverの終了]： Air Back for File ServerのGUIを終了します。終了してもバックアップは行われます。



5-2 Air Back アイコンの表示と動作状況

タスクトレイの Air Back アイコン表示で動作状況を確認することができます。



ノーマルアイコン（白背景に青文字）：待機中/リストア中



リバースアイコン（青背景に黄色文字）：バックアップ中



グレーアイコン（グレー背景に黒文字）：バックアップ先がすべて、接続不可の場合



エラーアイコン 1（白背景に赤文字）：エラー発生



エラーアイコン 2（白背景にオレンジ文字）：エラーアイコン 1 の反転用、エラー発生中はエラーアイコン 1 とエラーアイコン 2 が交互表示されます。



タスクトレイのアイコン上にカーソルを合わせると動作状態をバルーン表示します。



ライセンスキー未入力の場合に表示されます。クリックするとライセンスキー入力画面を開きます。

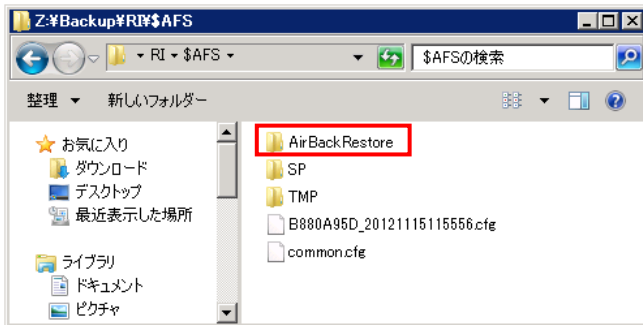
6 Air Back Restore について

6-1 Air Back Restore とは

Air Back Restore は、バックアップ先に自動作成されるリストア専用ツールです。Air Back がインストールされていない筐体からも実行することができます。

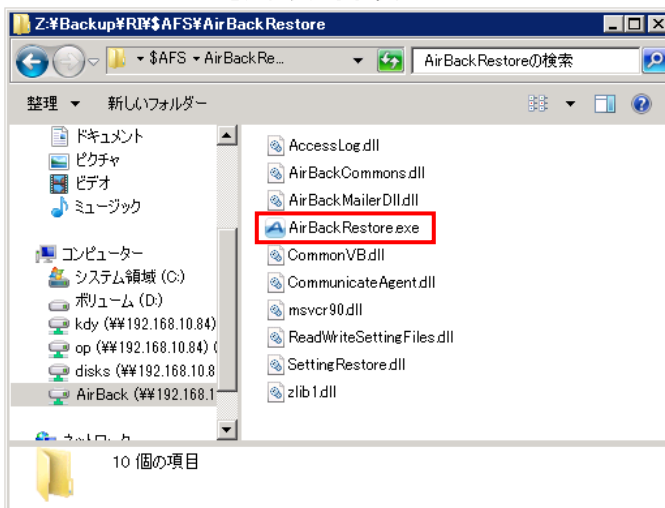
6-2 Air Back Restore の起動方法

Air Back Restore はバックアップ先に指定したドライブの「RI」フォルダの中にあります。

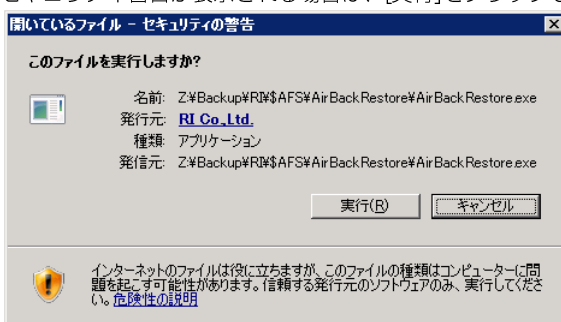


Z ドライブがバックアップ先の場合： Z:\RI\AFS\AirBackRestore

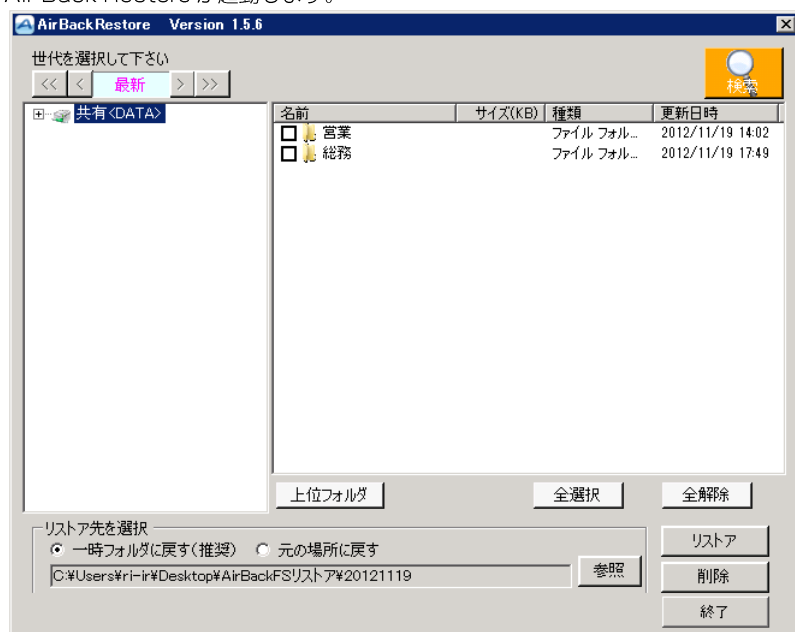
AirBackRestore.exe をクリックします。



セキュリティ警告が表示される場合は、[実行]をクリックしてください。



Air Back Restore が起動します。



Air Back Restore の使用方法は、4-3 リストアと削除 を参照してください。

7 バックアップ先にネットワークドライブを設定する手順

7-1 ネットワークドライブを割り当てる

Air Back をインストールした筐体で、バックアップ先に指定する場所をネットワークドライブとして割り当ててください。

割り当てが完了すると、バックアップ先に指定することができます。

※ 詳しくは、4-2-2 バックアップ先を追加する を参照してください。

7-2 Agent サービス実行権限の設定

[オプション > セキュリティ設定]画面を開き、Agent サービス実行権限の設定で[ドメイン]を選択します。



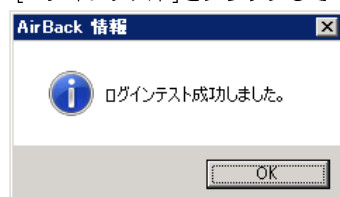
ドメイン（必要な場合のみ）、アカウント名、パスワードを入力します。

Administrator などのバックアップ先フォルダにアクセスできるアカウント情報を入力してください。

※ ローカルシステムアカウントはネットワークに対してアクセス権がありません。

※ 詳しくは、4-4-2 セキュリティ設定 を参照してください。

[ログインテスト]をクリックしてください。



ログインテストに成功し[ログインテスト]が緑色で表示されたら、[適用]をクリックしてください。

8 付録

8-1 インストーラをダウンロードする

インストーラとマニュアルはアール・アイのホームページより入手できます。

http://www.ri-ir.co.jp/product/airback_fs/download.html



8-2 無料評価版試用期間終了のお知らせ

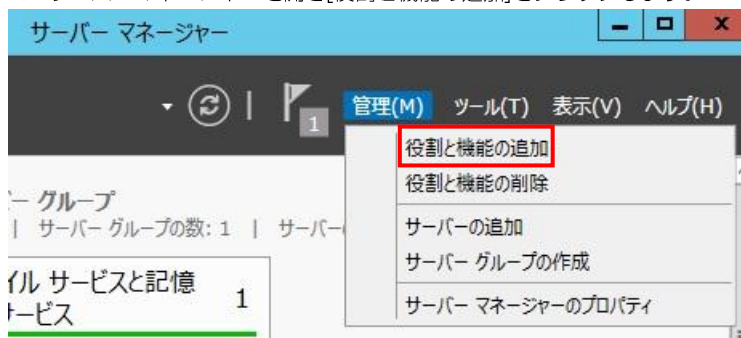
無料評価版をご試用の場合、インストール後 30 日間が経過するとご利用できなくなります。

ご購入いただきライセンスキーを登録することで引き続きご利用が可能です。

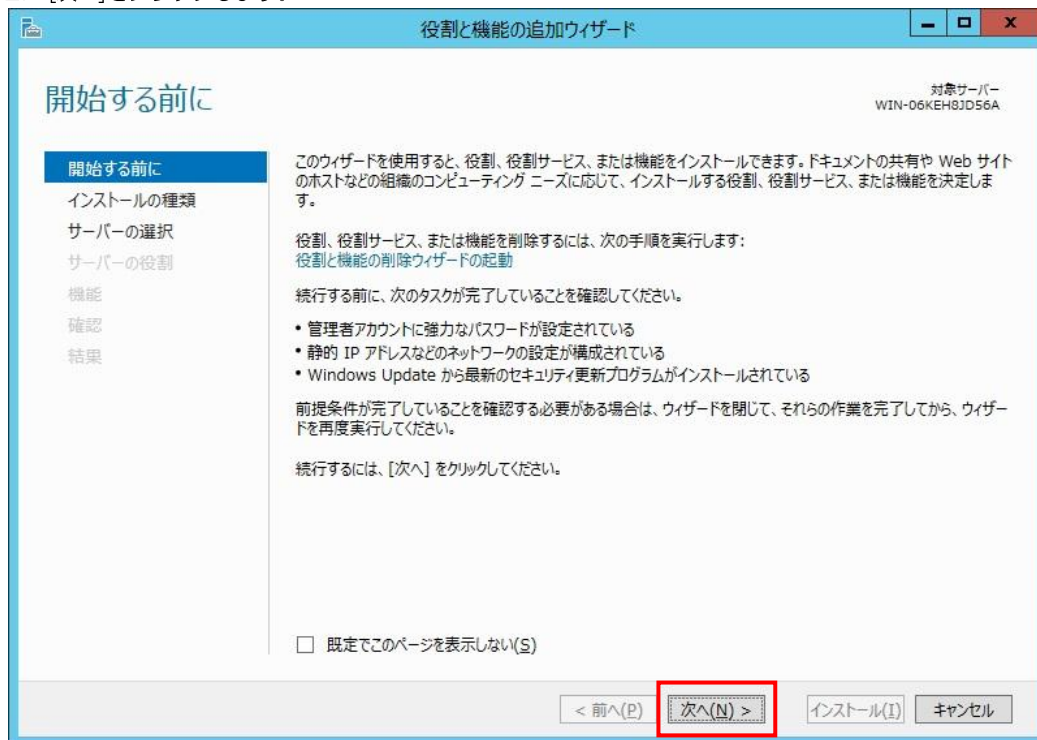


8-3 Windows Server 2012 に.NET Framework3.5 をインストールする手順

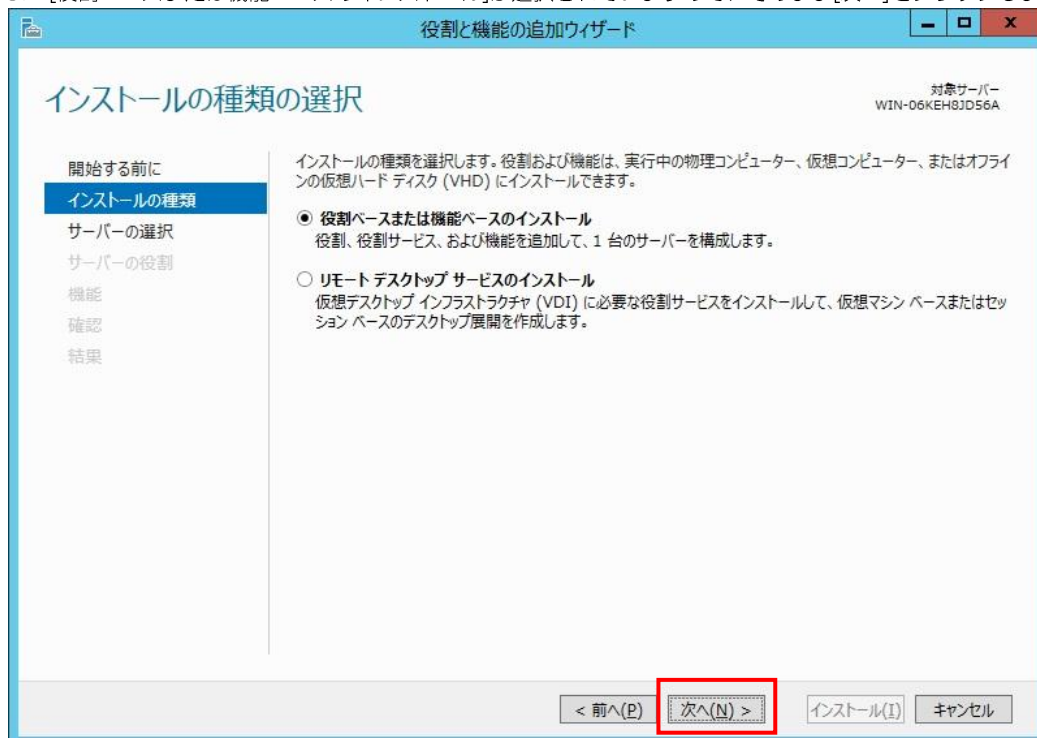
1. サーバーマネージャーを開き[役割と機能の追加]をクリックします。



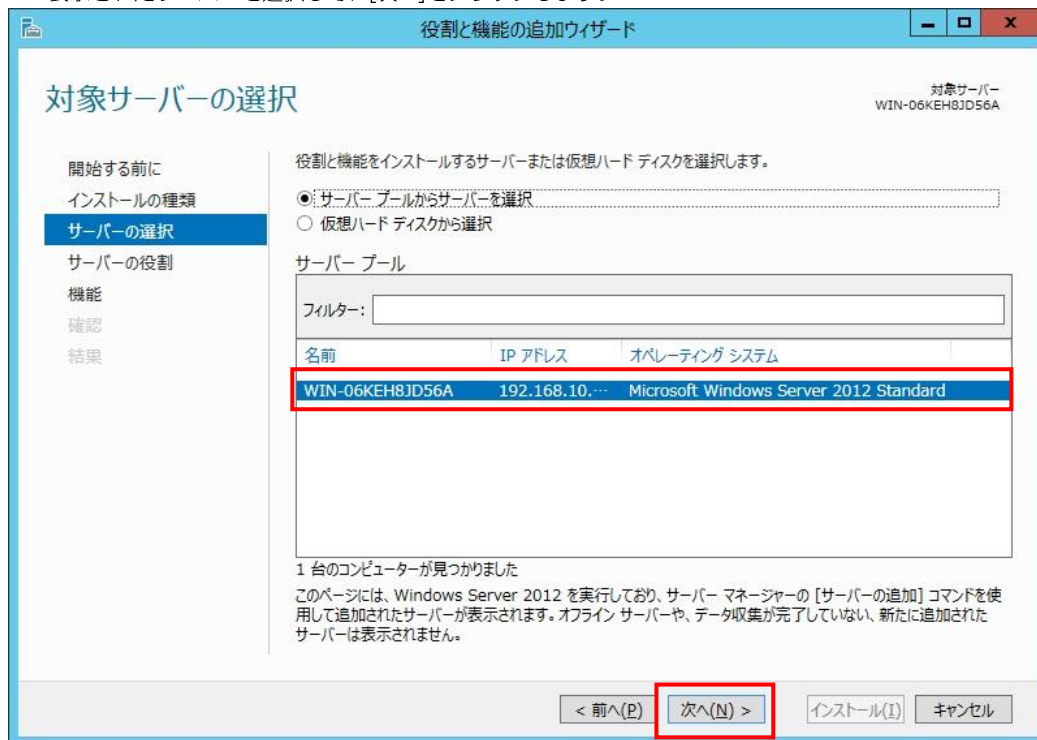
2. [次へ]をクリックします。



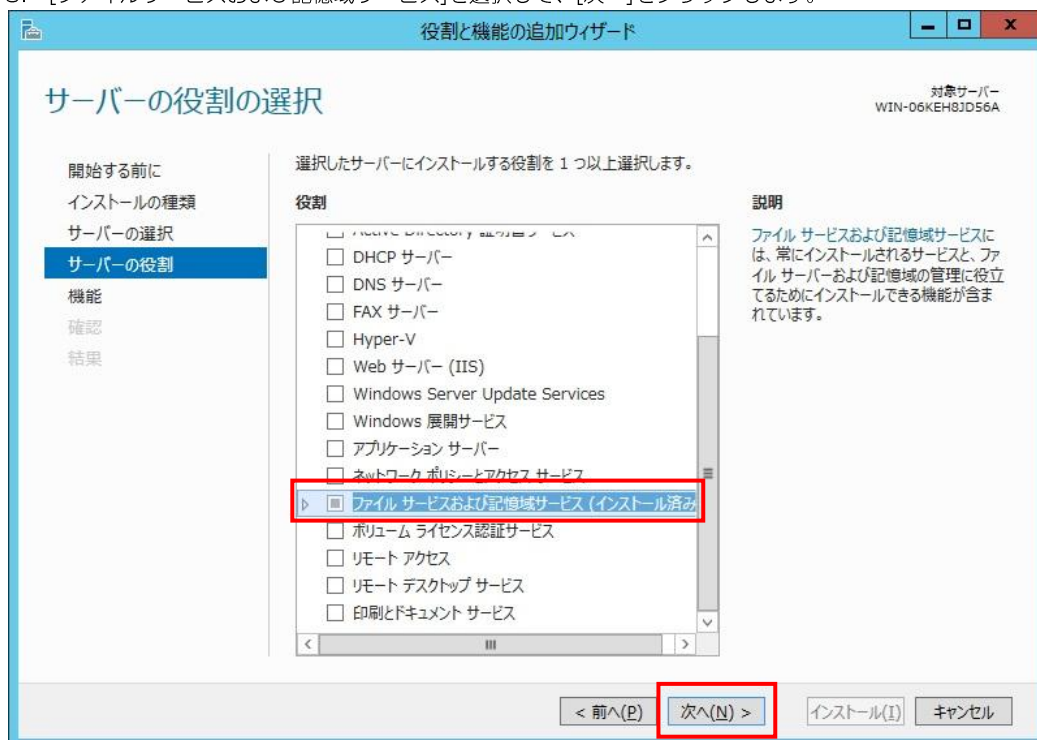
3. [役割ベースまたは機能ベースのインストール]が選択されていますので、そのまま[次へ]をクリックします。



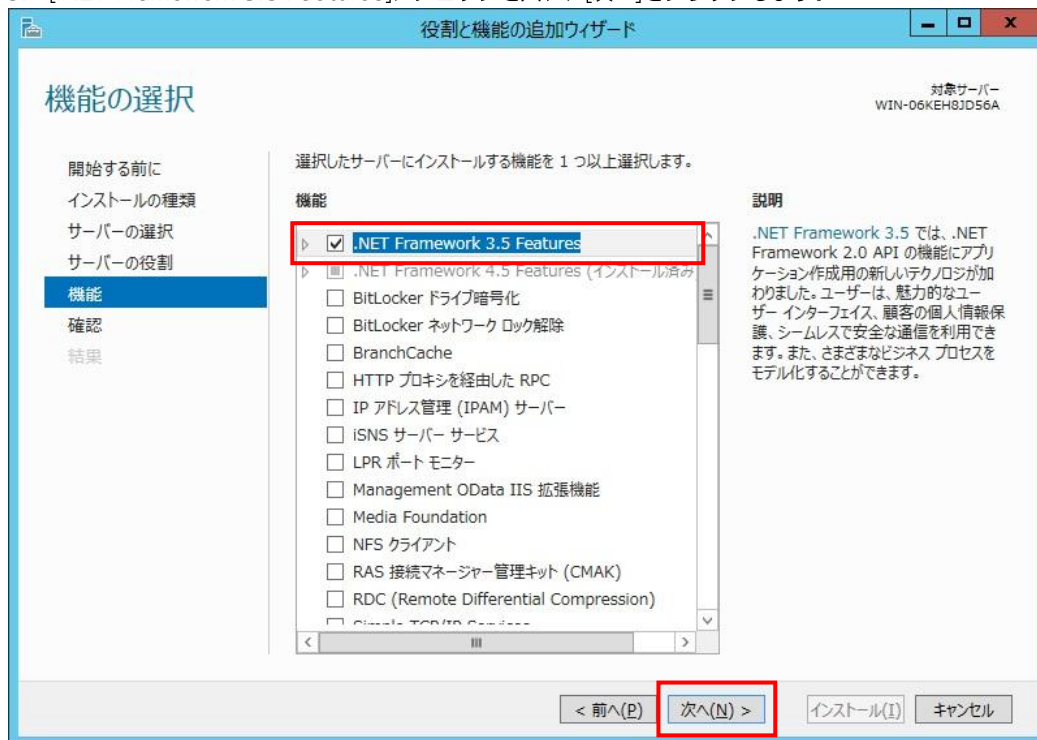
4. 表示されたサーバーを選択して、[次へ]をクリックします。



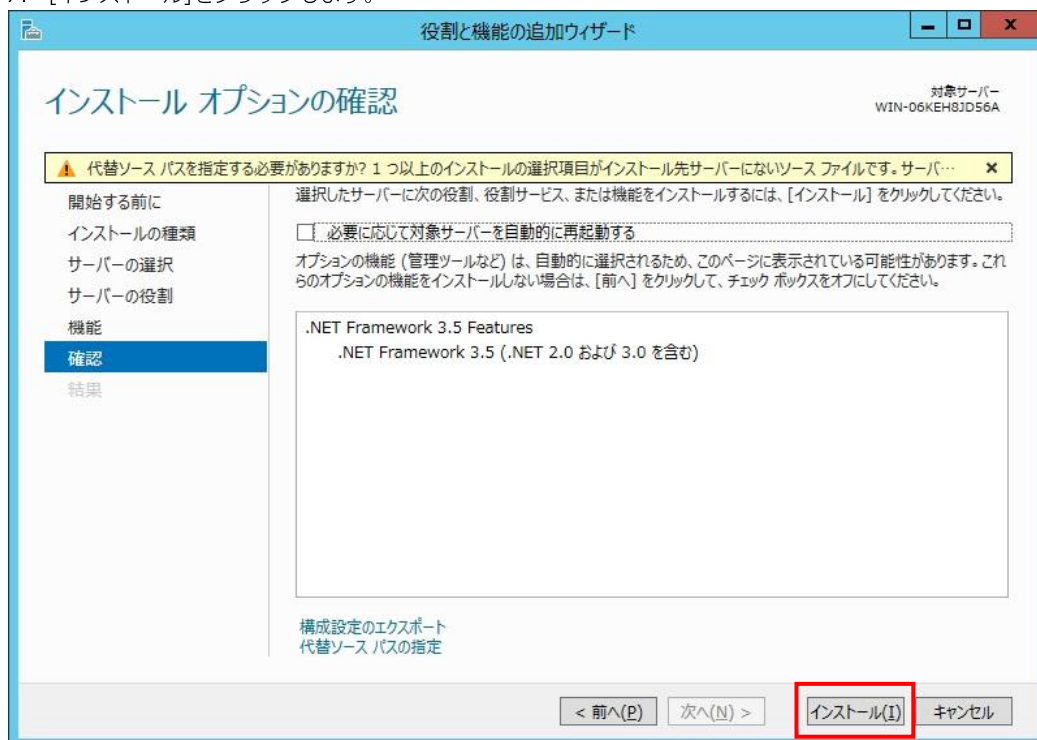
5. [ファイルサービスおよび記憶域サービス]を選択して、[次へ]をクリックします。



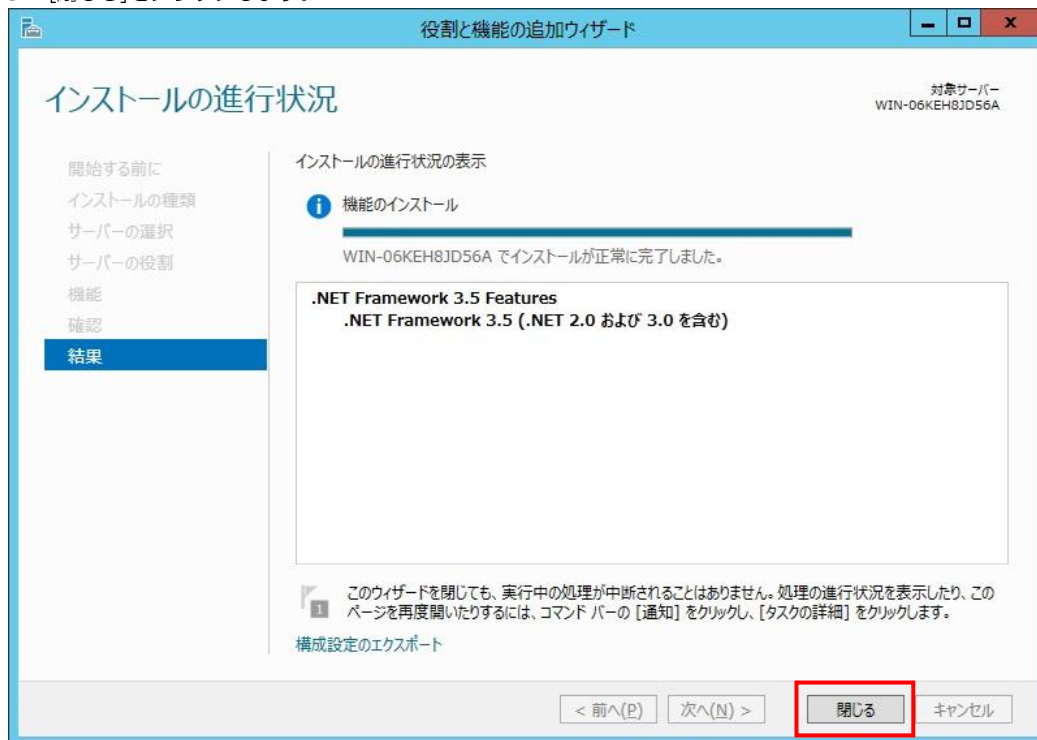
6. [.NET Framework 3.5 Features]にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。



7. [インストール]をクリックします。

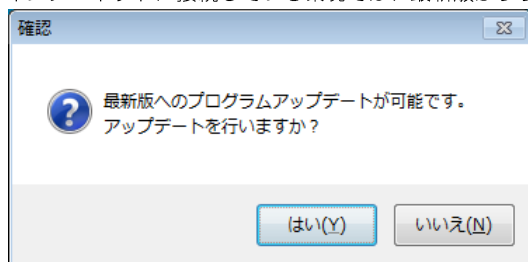


8. [閉じる]をクリックします。



8-4 アップデートについて

インターネットに接続している環境では、最新版がリリースされると Air Back 起動時にアップデート案内が表示されます。



[はい]をクリックするとアップデートが開始されます。

※ Windows 2008 以降では「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので[はい]または[続行]をクリックしてください。

<インターネットに接続していない環境の場合>

アール・アイのホームページから最新版のインストーラを手動でダウンロードしてアップデートしてください。

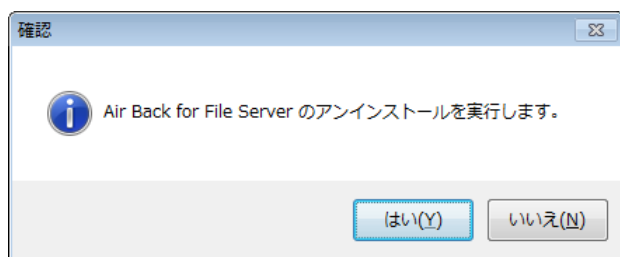
詳しくは、8-1 インストーラをダウンロードする を参照してください。

8-5 アンインストールの方法

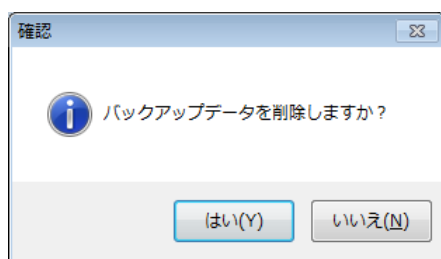
コントロールパネルから、[プログラムの追加と削除] または [プログラムのアンインストールまたは変更] を開き、Air Back を選択して[変更と削除]または[アンインストール]をクリックします。



インストーラが起動したら、[アンインストール]をクリックします。

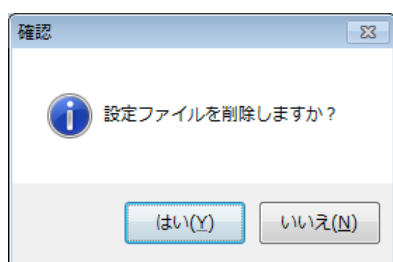


[はい]をクリックします。



バックアップデータを削除する場合は[はい]をクリックします。

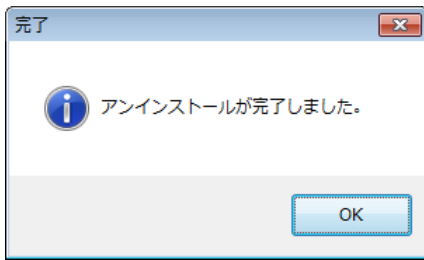
バックアップデータを削除しない場合は[いいえ]をクリックします。



設定ファイルを削除するかどうかを選択します。

[はい]をクリックすると、設定情報は削除されます。

[いいえ]をクリックすると、次回インストール時に現在の設定情報を引き継ぎますので初回設定ウィザードは起動されません。



[はい]をクリックします。アンインストールは完了です。

9 FAQ

1. バックアップデータはイメージ形式で保存されますか？

イメージ形式ではなくファイル単位で保存されます。

2. OS やアプリケーションをバックアップすることができますか？

当製品はファイル単位のバックアップですので、未対応です。

3. 圧縮する設定をした場合の圧縮率はどのくらいですか？

zip と同じ圧縮率です。

4. 初回バックアップはどのタイミングで始まりますか？

初回ウィザード完了時に[今すぐバックアップしますか？]ダイアログで[はい]を選択すると開始します。

[いいえ]を選択した場合は、リアルタイム設定では、バックアップ設定完了から 5 分後に既存データのバックアップを開始します。

非リアルタイム設定では、初めてのバックアップタイミングで開始されます。

5. 複数のバックアップ元をそれぞれ複数のバックアップ先に保存することは可能ですか？

はい、バックアップ先を複数設定することで可能です。

6. ネットワークドライブをバックアップ元にすることはできますか？

未対応でございます。なお、ネットワークドライブをバックアップ先にすることは可能です。

7. 差分バックアップは可能ですか？

はい、まだバックアップされていないファイルのみがバックアップされます。

8. アクセス権はバックアップされますか？

ドメイン環境下であればバックアップすることができます。4-4-2 セキュリティ設定画面の<Agent サービス実行権限の設定>を行ってください。

9. 本製品に依存しないリストアは可能ですか？

バックアップを暗号なし・圧縮なし設定で行っていれば可能です。

10. バックアップされないフォルダやファイルがあります。

標準モード→オプション→共通設定画面の除外設定を確認してください。

11. リストアする際、フォルダ選択時にフォルダ内の各ファイルを確認することは可能ですか？

フォルダをダブルクリックするか、[下位フォルダ]ボタンを押すと下の階層に移動できます。

12. エラーが発生して Air Back が起動できません。

.NET Framework が破損している可能性がありますので、Windows Update を行うか、.NET Framework を一旦全てアンインストールしてから Air Back のインストールをお試しください。

13. エラーが発生してバックアップが起動できません。

サポート画面より「サポートデータの作成」を行ってください。サポートデータ作成手順は、5-6-3を参照してください。

14. 文字数制限によるバックアップエラーについて。

Windows ではファイル名の上限文字数が 255 文字、フルパスで 260 文字という文字数制限があります。

以下のエラーが記録される場合は、ファイル名を短くするかファイルを移動してパスを短くして下さい。

- ・バックアップ先ファイルパスが制限文字数（260 文字）を超えています
- ・あて先フォルダパスが制限文字数(248 文字)を超えています